

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

8. 会議の経過

令和6年3月11日（月）午前10時02分開議

○委員長（日暮俊一君） ただいまから予算審査特別委員会を開会いたします。

これより議案の審査を行います。

議案第25号、令和5年度我孫子市一般会計補正予算（第7号）について、当局の説明を求めます。

○財政課長（関口浩紀君） それでは、議案第25号、令和5年度我孫子市一般会計補正予算（第7号）について御説明いたします。

補正予算書の1ページをお開きください。

第7号補正は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億3,500万円を追加し、予算総額を468億9,900万円にしようとするものです。

6ページをお開きください。

第2表継続費補正です。

事業名、鉄道駅バリアフリー設備整備事業は、地域公共交通バリア解消促進等事業負担金について、当初見込みより工事費が安価となり、本市の負担分が減少したため、3,333万4,000円を減額変更するものです。

その下、消防施設等整備事業は、（仮称）湖北消防署整備事業の設計業務委託について事業費が確定したため、1,032万円を減額するものです。

7ページを御覧ください。

第3表繰越明許費補正は、繰越明許費を追加するもので、主なものについて御説明いたします。

款2総務費、項1総務管理費の庁舎維持補修費は、市役所西別館受変電設備等更新工事について、高圧ケーブルの受注停止に伴い納期が延期されたことにより、年度内の完了が困難なため、1,999万8,000円を繰り越すものです。

次に、中段の款4衛生費、項1保健衛生費の会計年度任用職員人件費（パートタイム）及び新型コロナウイルスワクチン接種体制等確保事業は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る財務処理について年度内の完了が困難なため、両事業合わせて3,624万円を繰り越すものです。

款7土木費、項2道路橋りょう費の道路新設改良事業は、布佐小学校入り口交差点に係る用地取得や電柱移設に時間を要すること、また市道00-009号線の道路整備に係る用地測量に時間を要することなどにより、年度内の完了が困難なため、合わせて1億1,142万8,000円を繰り越すものです。

款9教育費の旧井上家住宅の保存と活用及び市民体育館改修事業は、工事において高圧ケーブルの受注停止に伴い納期が延期されたことにより、年度内の完了が困難なため、3,520万1,000

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

円と2, 607万円をそれぞれ繰り越すものです。

8ページを御覧ください。

第4表債務負担行為補正です。

1つ目、第2期基幹システム運用委託（令和5年度変更契約分）は、帳票専用紙の印刷業務や封入封緘業務の発注数量が増加したことや、令和6年度から業務効率化に向けて、必要な情報を戸籍システム上から参照できるようにするため、592万6,000円を限度に債務負担行為を設定するものです。

次の資源等改修及び資源化処理業務委託（令和5年度変更契約分）は、委託業務内の動物死体回収業務に付随する動物死体マイクロチップ読み取り業務を追加するため、90万3,000円を限度に債務負担行為を設定するものです。

9ページを御覧ください。

第5表地方債補正は、地方債の追加及び限度額を変更するものです。

まず、追加分について御説明いたします。

道路災害復旧事業及び都市公園等災害復旧事業は、昨年9月20日の大雨対応で発生した復旧事業費を追加するものです。

次に、変更分についてです。

近隣センター施設整備事業から4つ目の市立保育園施設整備事業は、業務の完了に伴い、起債限度額を減額するものです。

その下、一般廃棄物処理施設整備事業は、事業費の増額に伴い、起債限度額を増額するものです。

その下の公用車整備事業から下から3つ目の中学校施設整備事業までは、業務の完了に伴い、起債限度額を減額するものです。

その下、社会教育施設整備事業は、事業費の増額に伴い、起債限度額を増額するものです。

最後の鳥の博物館改修事業は、業務の完了に伴い、起債限度額を減額するものです。

次は、歳入です。

15ページを御覧ください。

事項別明細書により、歳入の項目を御説明いたします。

17ページを御覧ください。

2つ目の項目、款5項1目1の株式等譲渡所得割交付金8,500万円の増は、決算見込額が当初予算額を上回るため増額するものです。

その下の款6項1目1の法人事業税交付金4,800万円の減及びその下の款7項1目1の地方消費税交付金2億2,200万円の減は、決算見込額が当初予算額を下回るため、それぞれ減額するものです。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

19ページをお開きください。

2つ目の項目、款11項1目1の地方交付税は、普通交付税の追加交付などにより、3億8,869万7,000円を増額するものです。

25ページをお開きください。

下段、款15国庫支出金、項1国庫負担金、目1民生費国庫負担金のうち、節4障害者自立支援費負担金は、障害者介護給付費の増により、2,817万1,000円を増額するものです。

27ページをお開きください。

28ページ2段目になりますが、節7児童福祉費負担金の児童手当負担金は、児童手当支給事業の減により、7,580万円を減額し、子どものための教育・保育給付費負担金は、保育園、児童保育委託事業費などの増により、7,294万9,000円を増額するものです。

次の目2衛生費国庫負担金の新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金は、新型コロナウイルスワクチン接種体制等確保事業の減により、4,500万円を減額するものです。

次に、27ページに戻りますが、下段の項2国庫補助金、目1総務費国庫補助金の節2の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、交付限度額が示されたことなどに伴い、2,767万8,000円を増額するものです。

31ページをお開きください。

下段、款16県支出金、項1県負担金、目2民生費県負担金、節5児童福祉費負担金のうち、児童手当負担金は、児童手当支給事業の減に伴い、2,442万5,000円を減額するものです。

34ページの最上段になりますが、子どものための教育・保育給付費負担金は、保育園児童保育委託事業費などの増により、3,069万6,000円を増額するものです。

37ページをお開きください。

上段、項3委託金、目1総務費委託金、節3選挙費委託金の千葉県議会議員選挙執行委託金は、千葉県議会議員選挙運営費などの減に伴い、2,770万円を減額するものです。

49ページをお開きください。

中段、款22市債、項1市債、目4土木債のうち道路改良事業債は、道路新設改良事業費の確定に伴い、2,360万円を減額するものです。

次に、歳出の主な項目について御説明いたします。

55ページをお開きください。

款2総務費、項1総務管理費、目5財政管理費のうち、4つ目の丸、基金積立金の中の減債基金積立金は、12月に追加交付された普通交付税の一部について、令和6年度、7年度の臨時財政対策債が償還分として措置されたことなどから、3億2,940万円を積み立てるものです。

57ページをお開きください。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

目7 財政財産管理費のうち、3つ目の丸、基金積立金の公共施設整備基金積立金は、公共施設の老朽化対策に備えるため、3億40万円を積み立てるものです。

63ページをお開きください。

中段、項4 選挙費、目3 千葉県議会議員選挙費の2つ目の丸、千葉県議会議員選挙運営費は、事業費の確定に伴い、2,168万円を減額するものです。

71ページをお開きください。

款3 民生費、項1 社会福祉費、目3 障害者福祉費のうち、72ページ上段に移りますが、1つ目の丸、障害者介護給付費は、障害者自立支援給付費について、当初見込みより利用者が増加したことなどから、5,992万円を増額するものです。

その下、目4 高齢者福祉費、4つ目の丸、特別会計繰出金の介護保険特別会計繰出金は、介護給付費の減などにより、6,254万9,000円を減額するものです。

75ページをお開きください。

項2 児童福祉費、目2 児童措置費の2つ目の丸、児童手当支給事業は、支給対象児童数が当初見込みよりも減少したため、9,000万円を減額するものです。

次の目3 児童保育費のうち、1つ目の丸、保育園児童保育委託事業は、公定価格の増額改定や処遇改善等加算率の増加に伴い、不足する私立保育園委託料など1億2,116万1,000円を増額するものです。

3つ目の丸、子ども・子育て支援給付は、公定価格の増額改定や処遇改善等加算率の増加に伴い、不足する施設型給付費など3,390万8,000円を増額するものです。

83ページをお開きください。

款4 衛生費、項1 保健衛生費、目2 予防衛生費のうち、丸4つ目、新型コロナウイルスワクチン接種体制等確保事業は、特例臨時接種としての新型コロナウイルスワクチン接種が令和5年度で終了することから、不要となる事業費5,859万円を減額するものです。

87ページをお開きください。

項2 清掃費、目1 清掃総務費の基金積立金は、一般廃棄物処理施設整備等基金へ、今後の資源化施設整備に備え、2億15万円を積み立てるものです。

93ページをお開きください。

中段、款7 土木費、項2 道路橋りょう費、目3 道路新設改良費の道路新設改良事業は、布佐小学校入り口交差点改良事業や並木小通学路整備事業のスケジュールの見直しなどに伴い、3,351万4,000円を減額するものです。

97ページをお開きください。

項3 都市計画費、目7 交通計画費のうち、4つ目の丸、鉄道駅バリアフリー設備整備事業は、当

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

初見込みより事業費が安価となり、本市の負担金が減ったため、3,765万7,000円を減額するものです。

その下、目8公共下水道費のうち、丸1つ目の下水道事業会計繰出金は、下水道事業会計における流域下水道維持管理負担金の減少などに伴い、9,217万8,000円を減額するものです。

103ページをお開きください。

款9教育費、項1教育総務費、目4学校教育費のうち、1つ目の丸、幼稚園振興事業は、施設等利用費について支給対象者が当初の見込みを下回ることなどから、2,517万1,000円を減額するものです。

105ページをお開きください。

項2小学校費、目1学校管理費、2つ目の丸、小学校運営費及び同ページ下段の項3中学校費、目1学校管理費の中学校運営費は、光熱水費について、電気料金単価が見込みより安価であったことなどから、小学校運営費で4,901万5,000円、中学校運営費で2,332万3,000円をそれぞれ減額するものです。

111ページをお開きください。

中段、項5保健体育費、目1保健体育総務費のうち、3つ目の丸、基金積立金は、五本松運動広場の整備に向け、スポーツ振興基金へ1億294万7,000円を積み立てるものです。

以上で説明を終わります。十分な御審議の上、御可決いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○委員長（日暮俊一君） 以上で説明は終わりました。

議案第25号につきましては、議事整理の都合上、歳入歳出予算、継続費の補正、繰越明許費、債務負担行為の補正及び地方債の補正を一括して審査いたします。

委員及び答弁者の皆様に申し上げます。委員会運営を円滑に進めるため質疑は一問一答で簡潔にお願いいたします。また、予算書、予算説明資料のページを発言してから質疑されるようお願いいたします。

これより議案第25号に対する質疑を許します。

○委員（岩井康君） 予算書は70ページです。

款3民生費、項1社会福祉費の国保年金課のところで、特別会計繰出金がマイナスの1,687万5,000円となっていますけれども、この内訳についていま一度お知らせください。

○国保年金課長（海老原正君） こちらの内訳ですけれども、まず保険基盤安定繰入金、その保険税軽減分が1,195万円の増額になります。続きまして保険基盤安定繰入金の保険者支援分、これが1,952万8,000円の増額。未就学児均等割保険税繰入金、こちらが16万9,000円の減になります。職員給与費等繰入金、こちら309万3,000円の減になります。出産育児

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

一時金等繰入金、こちらが166万円の減になります。最後に、その他一般会計繰入金が4,342万5,000円の減になります。

○委員（内田美恵子君） 補正予算書84ページの下段、ワクチン接種業務委託料4,500万円の減額補正についてお尋ねします。

この事業、当初予算で2億8,853万9,000円計上されていましたが、何人分の接種を当初は想定していたのでしょうか、お聞かせください。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） 9万9,000回分です。

○委員（内田美恵子君） ありがとうございます。

それで、今回4,500万円の減額補正を計上された積算根拠というか、お考えをお聞かせください。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） こちらにつきましては約1万9,000回分を減額という形になっております。ただ、そのうち約1万回分は次年度に繰り越すということで、3月31日まで接種がありますので、5月まで国保連合会を經由して請求が上がりますので、その分は繰り越させていただいております。

○委員（内田美恵子君） このワクチン接種というのは、1人当たりどのぐらいの費用を見込んでいたのでしょうか。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） 接種費用につきましては6歳以上が2,277円、それ以外に時間外で接種した場合はプラス3,080円、休日で接種した場合はプラス4,620円が加算がありますので、その分を見込んで積算しております。

○委員（内田美恵子君） ありがとうございます。

それで、新型コロナの感染症法上の位置づけが昨年5月8日から2類から5類に変更になったわけですが、5類になったことで感染対策は個人の判断に委ねられるということになったと思いますが、5類移行後の接種状況の変化、お聞かせください。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） 既に5類に移行した時点ではもう接種がほぼ終了時点になっておりますので、5月8日ぐらいの接種についてはほぼあまり接種がない状況になります。

ただ9月20日から新しい株のワクチン対応ということで、そちらの接種が始まりましたので、そちらにつきましては65歳以上の方になりますが2万2,056人、これは1月16日時点になりますけれども、接種率52.6%ということで、一番最初の1回目接種のときは65歳以上、96%接種していましたので、やはり5類に移行して40ポイントぐらいは接種率は下がってきているかなということで、日頃のインフルエンザと同じ接種率になってきているかと思えます。

○委員（内田美恵子君） 新型コロナウイルスの感染が始まった2020年度から、今年度、2023

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

年度までの市内の感染者数と、ワクチン接種者数、年度ごとに分かればお聞かせいただきたいと思うんですが、事前にお伝えしてなかったのも、お分かりにならないければ後で教えていただきたいと思いますが。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） まず、まずワクチンの接種者数、令和5年3月31日時点の、昨年度末時点での累計になりますけれども、細かく数字あったほうがよろしいですか。65歳以上とか、年齢と回数別でいいですか。

（「それはいいです。総数で」と呼ぶ者あり）

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） 累計で言いますと、1回目の接種が84.8%、2回目の接種が84.4%、3回目の接種が72.5%、4回目は65歳以上に限定になりますが84.6%、5回目が69.4%と、回数が増すごとに減ってはきています。

あと感染者数につきましては、感染症情報のほうで把握するような形になっておりまして、新型コロナにつきましては減少傾向というふうに把握しております。

○委員（内田美恵子君） それでは、先ほどお伝えした年度ごとの感染者数、今、何となく教えていただいたんですけど、ワクチン接種者数とその兼ね合いで年度ごとにお聞かせいただきたいと思っています。

それから、何回かワクチン接種というのが行われてきましたけれども、回数ごとの接種者数、それからどういうワクチンであったかということも分かれば教えてください。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） そちらにつきましてはかなり変動しておりまして、細かい統計になってしまいますので、後日資料として提出させていただきたいと思っています。

○委員（内田美恵子君） それで、5類に移行したことで、3年あまり続いたコロナ対策も節目を迎えたということですが、担当者には本当にお疲れさまでしたと感謝したいと思います。

市内のワクチン接種者数は全国あるいは他市と比べて多かったのか少なかったか、概要で結構ですが、その辺だけ教えてください。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） 9月20日以降の秋開始接種につきましては、先ほど言いました65歳以上52.6%ですが、同時期の全国平均で言いますと50.7%ということで、国の平均よりは我孫子市の接種率のほうが高い状況になっております。

我孫子市の接種の特徴といたしましては、全体的に初めのほうに国よりも接種率がかなり上がっていて、だんだん国が追いついてくるというような形で、市の接種率のほうが常に上回っている状況でございました。

○委員（内田美恵子君） 接種方法についても、我孫子が評価された点も幾つかあったと思うんですが、ここではまだ補正ですのでその辺のことはお聞きませんが、その辺のことも今後の新たな

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

感染に備えてまとめておいていただきたいと思います。これは要望です。

次に、ワクチン接種の医療機関の受入れ体制というのも変わってきたと思うんですが、この辺は今後どうなっていくのかというか、5類に移行した後の受入れ体制がもう既にできているんでしょうか。その辺お聞かせください。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） 5類に移行した後の接種体制ということでいいますと、9月20日の秋開始接種につきましては、ほぼ日曜なども専任体制とかで接種を開始していただいている市内医療機関もございますし、開業医の先生によっては、それぞれの施設に合った規模で接種を開始していただいているような状況になります。

ただ、もう既に3月31日時点で接種が終了という形になっていますので、ほぼ医療機関のほうは、予約が入ったものについてで終了という形になっておりますので、個別に予約が取れる医療機関を対応しているような状況になります。

○委員（内田美恵子君） それから今後のワクチン接種については、季節性インフルエンザと同様になるというふうな情報もあるわけですが、ワクチン接種、今後どうなっていくのか、お聞かせください。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策室長（根本久美子君） 国から示されている状況では、高齢者インフルエンザと同様で、65歳以上の方については一部市の負担があるという形になるかと思えます。インフルエンザと同様にお子様とか壮年期の方につきましては、全額自己負担で接種という形で今のところ示されておりますが、詳細についてはまだ示されていない状況です。

○委員（内田美恵子君） 分かりました。詳細が分かったら、また市民の方にもお知らせいただきたいと思います。ありがとうございました。

○委員（江川克哉君） 補正予算書66ページ、款2項4目4市議会議員選挙費についてであります。

66ページの下段の丸の2つ目、市議会議員選挙運営費が非常に減額をされていて、1,356万1,000円減額をされています。その前のページの県議会議員選挙については無投票になりましたので、大幅に減額になるのは分かるんですけども、市議会議員選挙の運営費が大幅に減額になった理由というのはどういったものがありますでしょうか。

○選挙管理委員会事務局次長補佐（鳴島道君） 選挙公営負担金の減額が主なものとなっております。

○委員（江川克哉君） 選挙公営負担金のもう少し詳しい内容についてお教えいただけますか。

○選挙管理委員会事務局次長補佐（鳴島道君） 公営負担金ですが、選挙運動用通常はがき郵送料、選挙運動用ポスター作成費や自動車の借入れ、あとは運転手の報酬、燃料費、選挙運動用ビラ作成費となります。

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○委員（江川克哉君） そうしますと、立候補者が多ければ多いほどそういった経費がかかって、今回は想定された立候補者数よりもかなり少なかったということによろしいでしょうか。

○選挙管理委員会事務局次長補佐（鳴島道君） 想定では32名ということでして、今回は29名の立候補ということで。さらに運転手の報酬だったりその辺、選択できる幅がございまして、その中で一応マックスということで取っておりますので、ちょっと減額の幅が大きかったということになります。

○委員（江川克哉君） ありがとうございます。

本会議でも取上げられていたんですけども、投票率の増減というのは今回の運営費には影響はないということでしょうか。

○選挙管理委員会事務局次長補佐（鳴島道君） 投票率は関係ございません。

○委員（江川克哉君） そうしますと時間外勤務手当が105万3,000円減額になっているんですけども、これ例えばの話なんですけれども、投票率がそれほど多くなかったので、開票に人件費がそれほどかからなかったということではないということでしょうか。

○選挙管理委員会事務局次長（高見澤隆君） こちら時間外の補正で削減ということでございますけれども、今、委員、開票の業務というお話ありましたけれども、特段投票者数といいますか、投票率によってその時間をという設定ではなくて、事務作業が効率よく進むように人員配置をしまして、その結果、開票時間も11時頃を予定していたんですけども、その時間に速やかに終わることができたというような状況で考えております。

○委員（江川克哉君） ありがとうございます。

これからも速やかな運営を無事故で何とぞよろしくお願いいたします。答弁結構です。

○委員（坂巻宗男君） そしたら私、歳入のほうでちょっと伺おうと思います。

19ページと、それから17ページで交付税と地方消費税の交付金の関係で伺おうと思うんですが、まず19ページの地方交付税のほうですけども、これについては今回3億8,800万円増ということなんですが、これは、いわゆる国のほうで国税五税と言われている所得税などの一定割合の地方交付税ということになってくるかと思うんですが、これの枠が国全体として増えて、その結果、我孫子市に来る配分が増えたという考えなのか、あるいは我孫子市の中で、いわゆる基準財政需要額とか収入額とか、そういった市独自の計算の中でプラスが生まれるということになったのか、その辺はいかがなんでしょうか。

○財政課主幹（加藤靖男君） 今回の追加補正につきましては、国の昨年度行った補正予算に伴うものとなりますので、市側の都合ではなく、国側で再算定したものというふうになります。

○委員（坂巻宗男君） 国の算定としては、いわゆる交付税全体が伸びていると、交付税のいわゆる税収が伸びているということの中での増額なんでしょうか。それとも、今のお話だと、国のほう

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

の算定基準の中で我孫子市は増える、あるいは他市は若干減るとか、そういうことの中での精査だったのか、その辺はいかがでしょうか。

○財政課主幹（加藤靖男君） 国からの補正予算の際の通知によりますと、国税収入の決算等に伴い地方交付税が増額されるというふうにされておりますので、元をたどりますと国税収入の増も一因になっているかと考えております。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

このところ、数年前からですか、かなり交付税が全体として伸びてきたという感じがあって、特に顕著なのは、交付税全体も伸びていますけれども、いわゆる臨時財政対策債に頼らなくなって、交付税そのもの——現物が届くという言い方がいいのかな——というふうな形で伸びてきて、これは非常にいい傾向だなと思っています。

ちょっと1点、そういう中で私が——この交付税が伸びているのはいいんです——気になるのが、その手前の17ページの地方消費税交付金は一方で2億2,000万円減っていますね。これが一体なんでなのかというところなんです。

交付税の五税の中には、たしか消費税も一定割合入っていたんじゃないかというふうに思うんですけれども。あるいは今の経済状況などを考えると、消費税なども全体としては枠が総額としては伸びている中で、地方への配分、いわゆる人口等、それほどこれに関しては難しい計算ではなくて決まるのかなと思っているんですけれども。そういったものの中で、我孫子市は若干人口は減少ではありますけれども微減というところですから、そんなにこの地方消費税交付金に大きく影響するようなことはないんじゃないかなと思う中で、この年度末で2億2,000万円減額になっている、その辺の要因はどういうところなんです。

○財政課主幹（加藤靖男君） 今回の補正額につきましては、県の税務課のほうで算定したものを基に減額幅というものを決定しております。

その要因なんですけれども、基本的にはその部分は県から示されていないんですけれども、ちょっと我々のほうでもその要因を少し探ってみました。

情報としてはちょっと断片的な情報にはなってしまうんですけれども、まず国税である消費税につきましては、令和4年度決算額より、令和5年度の補正予算後の額が少しやはり落ちているようですので、国も同じような傾向を見込んでいるのかなと考えております。

またその要因なんですけれども、これがまさに断片的な情報になってしまいますけれども、毎月、国のほうが国税である消費税の状況をどうも公表しているようでして、新聞報道などによりますと、月によって輸入が減ったことですか、あとは中間納付した消費税の還付が多かったというようなことが理由として挙げられておまして、まだちょっと年度の途中なので総括的な情報というのは見つけられなかったんですけれども、断片的な話としてはそのあたりが要因になっているようです。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

これはもともと国税のほうから来るものですから、なかなか我孫子市でそもそもどうこうできるお金ではないんですけれども。ただ、私はやっぱり不思議に思うところがあって、交付税が総額として伸びていて、今言ったように税収として伸びているのに、何で消費税が減るんだという。つまり消費税が減るといのは一般的な考え方をすれば、いわゆる経済状況がよろしくないというような考え方もできるわけであって、これだけ株が高くなっていますよとか、いろんな情報があるけれども、実態の消費というのはいは伸びていないのかというようなところの疑問にもつながってくるかなというふうには思っています。

実は来年度予算などを見ても、少しこの部分に関しては減額をするというふうなことになっているもんですから、ちょっと一体今の経済状況などの情報というかニュースというのかな、そういうところから見ると、何かこの部分が減っていくのが解せないなというふうには思っていたんですが、今のお話だとやっぱり実際国のほうでも若干減っている傾向があるというふうなお話でした。ちょっとこれは繰り返して、我孫子市でどうこうできることではないんですけども、やはり情報としてはしっかりと財政としては取っておいていただいて、できるだけ減額要因が、歳入が減っていくというのは抑えたいところがありますから、しっかり今後も情報を取りながら適切な財政運営というのをお願いしたいと思います。答弁は結構です。

○委員（内田美恵子君） 1点だけ確認させていただきます。

補正予算書の108ページの湖北地区公民館指定管理者選考委員報酬2万4,000円の減額について。この減額理由を教えてください。

○公民館長（小林裕君） 選考委員会委員報酬ですけれども、こちらのほうは4名の選考委員の方々に1回当たり3,500円の報酬額で、計4回の予算の設定をさせていただいたんですけれども、実際は3回の開催で済んだことと、あと欠席された委員の方がいらっしゃいましたので、その分を減額させていただいております。

○委員（内田美恵子君） 欠席された方は何名ですか。

○公民館長（小林裕君） 計3名の人数になります。

○委員（内田美恵子君） 欠席された方の人数を教えてください。

○公民館長（小林裕君） 失礼しました。

1名の方が選考委員会のときには欠席されています。

○委員（内田美恵子君） 1名欠席されたわけですが、そのまま選考委員会を行ったと理解してよろしいでしょうか。

○公民館長（小林裕君） 委員おっしゃるとおりです。

○委員（岩井康君） 予算書86ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、手賀沼課の所管ですけれ

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ども、手賀沼浄化推進事業が80万円の減となっているわけなんですけど、この内容についてお知らせください。

○手賀沼課長（嶋田繁君） 手賀沼浄化推進事業の中で、手賀沼と市内の主要排水路等につきまして水質調査を委託しております。その委託料の減なんですけれども、主には入札の結果の減、入札によって委託料が下がりましたので、その補正ということになっております。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

それで、今回の場合は80万円の減ですけれども、前は幾らでしたか。

○手賀沼課長（嶋田繁君） 申し訳ありません。昨年度がちょっとどのくらい減になったのかというのは、今手元に資料ございませんので後ほど報告したいと思います。

○委員（岩井康君） 後ほどで結構ですから、資料ください。

○委員（坂巻宗男君） もう一度財政課のほうに伺います。ページで言うと123ページです。

全体的な話になりますが、ここに年度末等におけるいわゆる起債残高の見込みというふうな形の金額が出ておりますけれども、令和5年度については、年度末で329億808万1,000円の起債残高になるというふうなことになっているわけですけれども、これはまず当初と比べるとどういった状況になっているのかお聞かせください。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午前10時48分休憩

午前10時49分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開します。

○財政課主幹（加藤靖男君） 昨年度、当初予算の段階では地方債残高として332億円ほどを見込んでおりましたので、そこから比べると少ないという形になります。

○委員（坂巻宗男君） かなりこれ、実は令和5年度特徴的に起債が減った年になるんですね。

全体としてまず減っているわけなんですけど、年度当初と比べて332億円がさらに329億円ということで、3億円ぐらい減っているわけなんですけど、これは当然年度内の起債事業の増減などがある中で、入札差金等もあるのかもしれませんが、そういった中で最終的にはこの329億円に落ち着いているというか、そういうような考え方を取ればよろしいですかね。

○財政課主幹（加藤靖男君） おっしゃるとおり、予算と決算の差ですとか、または繰越しの状況等によってこのような結果となっております。

○委員（坂巻宗男君） 了解しました。

この令和5年度を見ますと、このページで見ても前年度末の現在高が342億円あった起債残高が、結果的に329億円ということですから13億円以上減額するというふうな形になったんです

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

けれども、この要因はどういったところにあるというふうに見ておりますでしょうか。

○財政課主幹（加藤靖男君） 一番大きい要因としましては、やはり臨財債の元金償還額に比べて新規の借入額が相当抑えられているということが要因であると考えております。

○委員（坂巻宗男君） まさにそういうところがあるんだろうなというふうに思います。

大体、今までで言いますと、年度臨財債多いときは15億円前後ぐらいの額で、普通に出るのが15億円ぐらいで、30億円ぐらいからの交付税みたいな感じになっていたようなイメージを持つんですが、そういったものが大分この年度などは臨時財政対策債が減った分というところで、借金をせずに事業をいろいろ行うことができた、そういう年になったのかなというふうに思います。

私も予算、決算など臨むに当たって、過去の決算カードはだ一と二、三十年見てから臨むんですけど、これだけ十数億円起債を減らした年というのはちょっと見当たらないんじゃないかなと思うんです。

一時期、いわゆるクリーンセンターの建築に入る前に、この予算委員会でも指摘させていただいたんですけども、2年続けて3億円と5億円ぐらいでしたか減額して、その上でクリーンセンターの建設に臨むという形を取れて、ここで、これはすばらしい形というふうなお話をさせてもらったことがあるんですが。まさにクリーンセンターが終わった後にも、クリーンセンターで342億円まで、今までの我孫子市のピークだと思うんですけども、起債残高は膨れるんですけども、その後すぐに、これだけ13億円からの起債を減らせたというのは、この年度、非常に特徴的ではすばらしい財政の効果があつたんだろうと私は思っているんですけど。

ちょっとそういう意味で、これぐらい大きく今まで起債を減らせた年というのは、どうでしょうか。今までで、ちょっと私が見る限りないんじゃないかなと思っているんですが、その点いかがでしょうかね。

○財政課主幹（加藤靖男君） 地方債残高、合計で言いますと、これまで基本的には右肩上がりの状況が続いておりました。

1つの要因としましては、先ほどから出ております臨財債につきまして、こちらの制度、平成13年度から借入れ始まっているんですけども、ずっと借入れの返済が終わる前に、新たな借入れを行うという状況が続いておりました。ただ、臨財債は借入期間20年間で借り入れますので、大体令和の頭ぐらいに、令和2年度、令和3年度あたりからは償還が終わっているのが出てきて、返し終わるのもあるけれど、新たな借入れも行うというふうな状況に変わってきております。

そうした中で、ここ近年につきましては、さらに発行額が減っているということもありまして、全体として臨財債分の残高が落ちる傾向がより強まったのかなというふうには考えております。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

そういった結果として十数億円の減額という形に収まったのかなというふうに思います。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

これ例えば新たな財政規律ということであると、いわゆる臨財債は除いて、普通の事業債と言えればいいんですかね、この辺の元金と返済額との比較ということになると思うんですけども、これは令和5年度については、これも達成をされているというふうな見方でよろしいでしょうか。

○財政課主幹（加藤靖男君） 令和5年度は、まだ当初の段階では、若干の達成というような見通しを立てておりましたが、実際これから決算に向かいますと、翌年度への繰越し等も発生いたしますので、まだちょっとその見通しまでは立てられていない状況です。

○委員（坂巻宗男君） また決算などで、その辺はしっかりと適正に評価をしていただければと思います。

ただ、いずれにしましても、これだけ大きく起債額を減らしていったって、非常に私大きなことだったなと。先ほども申し上げましたけれども、クリーンセンターという非常に大きな事業がある前にしっかりと起債を減らしながら、それでその大きな事業に臨んで、事業の中でも事業費全体枠はぐっと減らせて、財政負担が少なくなった上に持ってきて、これは国の制度によるところが大きかったという部分もありますけれども、いわゆる臨財債なども含めて、地方交付税などはかなり大きく現金としてと言えばいいのかな、現物として入ってきたというふうなところがあつたかと思えます。

ただ、いずれにしても、そういった大きな事業をやった後にぐっとまた減らせたという形で、もちろん毎年毎年財政規律を保って、ゆっくり起債を、借金を減らせていけるという財政運営は非常に重要ですけども、実際のところは年度年度で様々な事業があるわけだから凸凹がある。そういうときに出るだけじゃなくて、やっぱりこういうふうな形でしっかり減らせていけるというのは、私は非常に重要な、財政運営上大切なことだと思うし、この令和5年度は特に特徴的にこれだけ起債が減らせた。数値見てみますと、じゃ、一方で財政調整基金などはどうかというと、これは実際のところは3億円ぐらいしか減っていないですよ、この年度は。42、3億円が39億円ぐらいで落ち着いているんです、年度末、令和5年度は。

ですから、貯金も大きく減らすことなく、借金を大きく減らせているという、非常に財政上の簡単な物の見方でありますけれども、こういったことがある年度でこうやってできていくと、これからいろんな大型事業等出てくるし、令和6年度も、なかなか財政収支という意味では難しい厳しい場面はあるのかもしれないんだけど、数年後にはこういった形で減らせるというのが大切だと思うので、ぜひこういう令和5年度のような財政運営というのを心がけて、これからもいわゆる持続可能な財政運営というのを続けていっていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

○委員（芹澤正子君） 112ページ、先ほど説明がありましたけど、スポーツ振興基金積立金1億294万7,000円。これは五本松公園の整備事業というんですが、これまでの累計は幾らに

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

なりますか。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午前10時59分休憩

午前10時59分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開いたします。

○財政課主幹（加藤靖男君） スポーツ振興基金の令和5年度末残高見込みは1億2,850万円となります。

○委員（芹澤正子君） 令和6年度のほうの新しい予算書では2万円しか載っていないので、この大きな事業がなくなれば、このスポーツ振興基金積立金というのはこの後も特別な予定がない限りその小さい数字で移行しますか。一言で言うと今回でほぼ終わりと聞いているんです。

○委員長（日暮俊一君） 次年度の予算に関わることになりませんか。

○委員（芹澤正子君） 補正予算は内容を聞いてもいいというふうに事前に聞いているので、今質問したんですけど。新年度にわたることは聞いちゃいけないですか。

○委員長（日暮俊一君） 新年度は新年度でやりますので。

○委員（芹澤正子君） 分かりました。じゃ、今の質問は取り下げます。

じゃ、もう一つ、ホームページの記載の仕方で要望します。

決算カード、何年何年というのを連続して引き出せるように……

○委員長（日暮俊一君） ページを。

○委員（芹澤正子君） だから、補正予算の分は、その他のことも聞いて……

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午前11時00分休憩

午前11時00分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開します。

○委員（岩井康君） 予算書の88ページ、款4衛生費、項2清掃費のところで、先ほど最初に説明もありましたけれども、2億15万円の減です。一般廃棄物処理施設整備等基金積立金ですが、これで実際に総額で今どのぐらいなっているのかというのをまずお聞きします。

○財政課主幹（加藤靖男君） 令和5年度末残高見込みで4億50万円となっております。

○委員（岩井康君） それで、今年度でこの基金からの活用といいますか、それはどのぐらいされたんですか。

○財政課主幹（加藤靖男君） 令和5年度における同基金の繰入れは260万円となっております。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○委員長（日暮俊一君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩いたします。

午前11時02分休憩

午前11時04分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開いたします。

○財政課主幹（加藤靖男君） 先ほど岩井委員からの御質問に対しまして、一般廃棄物処理施設整備等基金の令和5年度繰入金の予定額につきまして、260万円と申し上げましたが、ゼロ円と訂正させていただきます。申し訳ありません。

○委員長（日暮俊一君） それでは、議案第25号に対する質疑を打ち切ります。
暫時休憩いたします。

午前11時05分休憩

午前11時09分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開いたします。

次に、議案第30号、令和6年度我孫子市一般会計予算について審査いたします。

議案第30号につきましては、議事整理の都合上歳入歳出を分割して審査いたします。

初めに歳入について当局の説明を求めます。

○財政部長（中光啓子君） 議案第30号、令和6年度我孫子市一般会計予算について説明いたします。

予算書の1ページをお開きください。

第1条では、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ対前年度比8.0%増の467億6,000万円としています。

第2条では継続費、第3条では債務負担行為、第4条では地方債について定めます。

第5条では一時借入金の最高額を30億円と定め、第6条では歳出予算における流用について定めます。

それでは、33ページを御覧ください。

歳入歳出予算の総括表で、33ページに歳入を、34、35ページに歳出を掲載しています。

36ページ、歳入の主な項目について説明いたします。

なお、この先の説明で申し上げますパーセンテージは全て対前年度比になります。

款1市税は、3.9%増の179億7,277万4,000円を計上します。

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

項1市民税は、3.9%増の93億4,087万1,000円を計上します。直近の収納状況等を参考に、個人市民税では1人当たりの納税額の増加により3.3%増、法人市民税では法人税割の増により17.3%増を計上します。

項2の固定資産税は、評価替えに伴う土地評価額の上昇や新築家屋の増加などにより、3.2%増の63億641万1,000円を計上します。

38ページ、項3軽自動車税は、軽四輪車の登録台数が増加傾向にあるため、1.9%増の2億274万4,000円を計上します。

項4市たばこ税は、直近の収納状況から、15.0%増の7億7,273万円を計上します。

項5都市計画税は、固定資産税と同様の理由により、2.2%増の13億5,001万8,000円を計上します。

40ページ、款2地方譲与税から款12交通安全対策特別交付金までは、令和5年度の交付状況などを踏まえ計上します。

款2地方譲与税は3.2%減の2億9,000万円を計上します。

42ページ、款4株式の配当所得の課税に対し交付される配当割交付金は1.5%減の1億3,500万円を、款5株式等譲渡所得割交付金は5.1%減の1億1,100万円を、款6法人事業税交付金は23.1%減の1億4,300万円を計上します。

款7地方消費税交付金は、地方消費税の納付期限の曜日の関係により一部の交付額が翌年度にずれ込むため、県の見通しなどを踏まえて、11.9%減の27億2,100万円を計上します。

44ページ、款9環境性能割交付金は9.3%増の4,700万円を、款10地方特例交付金は5.0%減の1億1,400万円を計上します。

款11地方交付税は5.0%増の57億900万円を計上し、うち45ページ、右下の欄の普通交付税は令和5年度の交付実績や国の地方財政対策を参考に4.7%増の55億6,000万円、特別交付税は16.0%増の1億4,500万円を計上します。

46ページ、款13分担金及び負担金は、28.9%増の5億8,660万1,000円を計上します。

48ページ、款14使用料及び手数料では、4.1%増の5億7,868万9,000円を計上します。

56ページ、下段、款15国庫支出金は、1.6%増の78億2,245万8,000円を計上します。

項1国庫負担金は、4.2%増の70億8,763万円を計上します。増額の主な要因は、目1民生費国庫負担金のうち、59ページになりますが、節4障害者自立支援費負担金のうち障害者自立支援費負担金や、節7児童福祉費負担金のうち児童手当負担金の増などによるものです。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

60ページに移りまして、項2国庫補助金は、19.1%減の7億462万6,000円を計上します。減額の主な要因は、62ページになりますが、目3衛生費国庫補助金において、昨年度は計上のあった新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金の全額減少などによるものです。

66ページ、款16県支出金は14.8%増の37億9,988万4,000円を計上します。

項1県負担金は、7.0%増の25億4,466万8,000円を計上します。増額の主な要因は、目2民生費県負担金、67ページ、節2障害者自立支援費負担金の増などによるものです。

68ページ、項2県補助金は、46.9%増の9億9,212万4,000円を計上します。増額の主な要因は、72ページになりますが、目8教育費県補助金のうち、73ページ下段、（仮称）千葉県GIGAスクール構想加速化基金補助金の増などによるものです。

76ページ、款17財産収入は、39%減の1,301万4,000円を計上します。

78ページ、款18寄附金は、令和5年度とほぼ同額の3,655万8,000円を計上します。

80ページ、款19繰入金は、55.1%増の19億7,315万7,000円を計上します。

項2基金繰入金は、政策的経費の財源として、目1で財政調整基金から49%増の14億6,500万円を繰り入れるほか、減債基金から1億3,000万円を繰入れます。

また、特定目的基金については、公共施設の老朽化対策に係る財源の一部として活用するため、目3で公共施設整備基金から、29.3%増の2億850万円の繰入れを計上しています。

84ページ、款20繰越金は、これまでの決算状況を参考に7億円を計上します。

款21諸収入は、11.5%減の10億5,950万4,000円を計上します。減額の主な要因は、86ページからの項5雑入、目1雑入のうち、93ページになりますが、節24放射能対策弁償金の減などによるものです。

100ページ、款22市債は、95.7%増の29億230万円を計上します。主な起債としては、102ページに移りまして、目5土木債、節3排水施設改修事業債を6億4,510万円、下段、目6消防債、節1常備消防事業債の（仮称）湖北消防署整備事業債を3億1,490万円、104ページに移りまして、目7教育債、節1小学校債の小学校施設整備事業債を4億5,830万円計上します。

目8臨時財政対策債は、地方交付税の代替財源として発行するものですが、国の地方債計画などを参考に2億4,000万円減の1億3,000万円を計上します。

以上で一般会計予算、歳入の説明を終わります。十分な御審議の上、御可決いただきますようお願いいたします。

○委員長（日暮俊一君） 以上で説明は終わりました。

委員及び答弁者の皆様に申し上げます。委員会運営を円滑に進めるため、質疑は一問一答で簡潔

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

をお願いいたします。また、予算書、予算説明資料のページを発言してから質疑されるようお願いいたします。

これより歳入に対する質疑を許します。

○委員（内田美恵子君） 予算説明資料の1ページ、予算の概要というところ、一般会計のところを御覧いただきたいと思います。

一般会計の予算規模について、ちょっと全体的な質問をさせていただきます。

2024年度一般会計当初予算467億6,000万円で、対前年度比8%増、額にして34億6,000万円増加しております。最近、厳しい財政状況だと言われている中で、前年度より35億円増の大型予算を組んだ理由をまずお聞かせください。

○財政課主幹（加藤靖男君） まず、前年度との比較ということで言いますと、政策予算のほうで約19億円程度伸びております。この中身としましては、令和6年度金谷排水機場の改修ですとか、湖北消防署の整備、また第2次教育ICTの整備、小学校の長寿命化など、比較的規模の大きな事業が盛り込まれたのが要因となっております。

また、経常予算につきましても、約15億円ほど伸びておりますが、全体としましては人件費が増加したことですとか、また目的別に申し上げますと民生費が大きく増加しております、ちょっと例年の傾向にはなるんですけれども、障害者自立支援給付費ですとか児童通所支援給付費等の増加などが要因となっております。

○委員（内田美恵子君） 大きな事業がたくさんあるとか、いろいろ要因はあるわけですが、予算規模をちょっと経年で見てみました。そうすると、2019年度（令和元年）までは300億円台で推移していたんですが、2020年度に412億5,000万円となり、それ以降400億円台の予算が続いております。

ちょうどこの時期、コロナ感染が拡大している時期で、2020年度から2023年度頃までは、コロナ対策関連経費の影響で予算が増大したと考えておりますが、予算規模の拡大とコロナ対策関連経費の関係についてどのようにお考えになっているのか、お聞かせください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 令和6年度当初予算につきましては、いわゆるコロナ関連経費というものは、それほど大きくないものになっているかと考えております。

一方で、令和2年度から4年度につきましては、400億円をかなり超える額の部分につきましては、コロナ関係また同時に並行しておりました新クリーンセンターの整備事業部分の増要因というのが大きかったというふうに考えております。

○委員（内田美恵子君） コロナの感染者が初めて確認されたのが2020年1月だったと思うんですけれども、その後感染が拡大した2021年、2022年の予算額が急増しておりますから、今、御答弁があったように、予算規模の拡大にコロナ対策関連経費というのは大きな要因の一つだ

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ったのかなと思うんですけども、ちなみに、このコロナ対策の財源となった地方創生臨時交付金の2020年度から本年度予算までの額を分かれば教えてください。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午前11時26分休憩

午前11時26分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開します。

○財政課主幹（加藤靖男君） コロナの感染症の創生交付金と、昨年、国補正以降出てきました物価高騰対策の創生交付金との合計額になりますが、通知額ベースでこれまでに約53億6,000万円となっております。

○委員（内田美恵子君） それの全体ですよ、今おっしゃったのは。

○委員長（日暮俊一君） 内田委員、きちんと発言してください。

○委員（内田美恵子君） 今おっしゃったのは総額ということで、私お願いしたのは2020年から2024年までのコロナ対策の地方創生臨時交付金の額というのはお分かりにならないですか。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午前11時27分休憩

午前11時28分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開します。

○財政課主幹（加藤靖男君） 先ほど申し上げましたうち、コロナ対策の創生交付金の通知額総額としましては約35億円となっております。これの年度ごとの割り振りは、今ちょっと手元に数字ございませんので、後ほど提出させていただきます。

○委員（内田美恵子君） 分かりました。

それで、財政担当の、これまで財政運営をやる中で正確な数字が出ないとしても、このコロナの感染の拡大あるいは下火になってきたというところで、コロナ対応の地方創生交付金は、コロナの感染に伴って増え、下火になるに伴って減額していったという感覚でよろしいのでしょうか。

○財政課主幹（加藤靖男君） その時々感染状況に応じて国のほうで予算措置いただきまして、また、ちょうど感染法上の取扱いが5類に下がりました令和5年度をもちまして、この本コロナ交付金につきましては終了ということになりますので、コロナの流行に歩調を合わせた交付をいただいていたというふうに考えております。

○委員（内田美恵子君） それで、私この予算規模について、コロナ感染の対応の臨時交付金が結構大きく影響しているのかなと考えております。今、数字としてはっきり出せないということなん

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ですが。

それで、そういう前提で考えてみますと、予算規模についても、コロナが下火になった2023年度は対前年度比マイナス9.1%、額にして45億5,000万円減少して予算規模も縮小したなどというふうなことが分かるわけですが、そんな中で2024年度予算は、コロナ対策費が大幅に減額したにもかかわらず、コロナ前なんですけど2019年度より88億円予算規模が増大しているんですね。

最近、本当に財政が厳しいって、原課を回ると言われるんですけども、そういう中で、先ほど大型事業が重なっているという御答弁があったんですが、なぜ私はこんなに大きな予算を組んだのかなと、後から市債なんかのことも触れていきますけれども、改めてこの大規模予算を組んだお考えをお聞かせいただきたいと思います。

○財政課主幹（加藤靖男君） まず先ほどおっしゃられました令和4年度と5年度に9%下がっているというところなんですけれども、ここの中には令和4年度に行いました、先ほども申し上げましたクリーンセンター分の予算が約60億円ほど含まれておりますので、その影響も少し入っているのかなというふうに考えております。

あと、例えばコロナ前の令和元年度、ちょっとこの表にははみ出してしまうんですけども、令和元年度頃の当初予算が約380億円程度の予算規模だったんですけども、今回それが令和6年度当初予算として約468億円、88億円程度増加しております。

中身を見ますと、ちょっと先ほどの答弁と似通った形にはなってしまうんですけども、政策事業が、令和元年度約19億円だったものが約54億円ということで、35億円ほど増えております。基本的に令和元年度は、取り立てて大きな事業がなかったんですけども、令和6年度につきましては、先ほど申し上げました金谷樋管ですとか、湖北消防署、教育ICTのような、比較的規模の大きい事業が盛り込まれたというのが一つ要因だと思っております。

また経常予算を令和元年度と比較しますと、経常予算だけで約53億円ほど膨らんでおります。目的別で見ますと、やはり民生費が33億円ほど増えておりまして、内訳見ますと、障害者の自立支援給付費、児童通所支援費等が増えておりますので、全体的な傾向としまして、やはり民生費の伸びというのが予算総額が増加する要因の一つになっているのかなというふうには考えております。

○委員（内田美恵子君） 確かに高齢化で民生費が増大していくということは、もうずっと前から予想されていたことで、またそれが実際になってきたというのはよく分かります。

それで、そのほかに今回は、やはり政策的事業も大きなものがいっぱいありますし、事業規模が必然的に大きくなっていくことは分かるんですけども、そうすると歳入の全体としてはそんなに伸びていない中で、どうしても市債の発行にかかってくるという部分が出てきますので、その辺がとても私は、現在の市債残高だとか、そういうところは皆さんが一生懸命工夫して、財政規律など

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

も何回も変えながら努力してこられたから現在はいいいんですが、今回、あまりにも急激に私は、財政規律も17億円オーバーするという、ちょっと驚いたんですけども。そういうことがありまして、後年度負担が、今年度の本年度のような財政運営をやっていくと今後ますます事業が多くなっていくわけですから、大変心配だなというふうに思っています。

それで、先ほど言いましたコロナ対策の地方創生臨時交付金にしても、今まで多かった臨財債にしても、交付税措置がありますから、後年度負担という意味では結構助かっていた部分があるんですけども、それがこれからは、臨財債が激減していますから、市債を増額するということになっていきますよね、一般市債の。そうすると、元利償還は確実に返済して公債費の増につながっていくのではないかな、10年後、20年後というところをとっても心配しているんですが、その辺いかがでしょうか。

○財政課主幹（加藤靖男君） おっしゃいますとおり、今後、今のこの臨財債の発行額が少ない傾向が続いた場合には、その事業債の借入額にもよりますけれども、総体的に臨財債が減って事業債が増えていくというような形が想定されますので、事業債につきましても、なるべく交付税措置のあるものをうまく活用して、残高自体につきましても何とか増加しない、抑制するような方向ということで考えていきたいと思えます。

○委員（内田美恵子君） 後で臨財債それから一般市債について御質問しますけれども、その辺も考えながら、予算規模ということも今後考えていただきたいと思えます。これは一旦ここで終わります。

○委員（江川克哉君） 予算書37ページの下段、説明資料だと7ページの固定資産税についてであります。

先ほどの御説明にもありましたけれども、固定資産税現年課税分として62億4,261万1,000円ということですが、資料の7ページの真ん中の辺の家屋の新增築分の課税標準見込額が、これ前年度は35億8,740万1,000円のところを、次年度は68億1,188万9,000円。これ令和5年度比だと189.88%なんですね。これ非常に、先ほども土地の評価額が上がっているとか、新築が多くなっているということなんですけれども、この新增築分が189%になったというのは、もう非常に驚異的な数字だと思うんですけど、これについてはどのようにお考えでしょうか。

○課税課長補佐（鈴木光一君） 建物の新增築家屋が昨年比べて圧倒的に多かった理由ということなんですけど、まず土地についてもちょっと説明させていただく必要があるのかなと思ひまして、土地のほうもちょっと説明させていただくんですけども、固定資産税、土地も家屋もそうなんですけれども、3年に1度評価替えというのがありまして、令和6年度がちょうど評価替えの該当年度になっております。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

我孫子市全体として地価が上昇しているんですけども、それに伴って家屋のほうも昨年と比べて、かなり建築棟数の圧倒的な数字が上がっています。正式な要因はちょっと分からないんですけども、考えられるものとしては、一番大きいのはまず久しぶりに大型の分譲マンションが寿に建築されました。これが94戸の大型マンションでございます。それと分譲ではないんですけども、天王台の駅周辺にも大型な賃貸マンションも完成したり、あと布佐地区では、スーパーマーケットの新築もありまして、昨年と比べても随分、大型家屋もしくは戸建ての建築件数が大幅に増えたということが一つの要因として考えられると思います。

○委員（江川克哉君） ありがとうございます。

今、土地の評価額については3年に1度評価が変わって、これだけ一気にどんと上がったというのは想像できるんですけども、今回の家屋の新增築分について、先ほど増加の分を考えられる原因というのはお聞きしたんですけども、この算定方法はどのように算定なさったのでしょうか。

○課税課長補佐（鈴木光一君） まず、建物の評価の算定の仕方から関係があるんで、ちょっと簡単に説明させていただきますと、建物が新築された場合に建物の評価基準表というもので、建物1棟の評価額というのを計算していきます。それに対して税率を掛けたものが税金の額になります。

先ほどちょっと申しましたけれども、家屋も土地と同様、3年に1度の評価替えがあります。家屋の評価替えというのは、そもそも今ちょっと言いました建物を算定する上で必要な家屋の評価基準表という、簡単に言ってしまうと、各建築資材に対する点数表みたいなものがあるんです。それが3年に一度更新されます。

令和6年度に新たに課税する物件については、令和6年度に新しく作った評価基準表によって評価を計算しなさいということになっているんですね。その評価基準表の中身が3年に一度改正されますと、当然、今まで3年前の中身と比べると、建築資材とか、あと人件費、そういったものも加味して、国のほうで点数を定めていきますから、数字が高い点数が出てきてしまうんですね。

高い基準表で評価を出したものというのは、当然今までの評価と比べましても、若干高めに評価額っていうのが出るようなシステムになっておりますので。その令和3年と令和6年の基準表の中身を見比べますと、おおむね1.1倍、約10%中身が上がっているということですから、そうすると同じ建物、同じ資材、同じ面積のものを建てても、約10%令和6年の課税年度の家屋のほうが高い数字が出てしまうというような現象になります。

それに加えて、先ほど言った大型のマンションですとか、スーパー、そういったもの、あともう単純に開発が、例えば栄なんかの大型の開発行為があって、戸建ての開発をしています。今年もまだ幾つか建つような状況になっておりますので、そういったことも家屋の評価額が上がってしまった要因の一つとして考えられます。

○委員（江川克哉君） ありがとうございます。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

土地だけではなくて家屋についても3年に1回の基準表の価格が変わってくるので、一気に上がったということが考えられるということなんですけれども、それ以外にも令和6年度の当初予算でするので、今後このぐらい、新築が建てられるんじゃないかという予想も当然含まれているということでもよろしいですね。

○課税課長補佐（鈴木光一君） 今の段階ではまだ何とも言えないんですけれども、予想としては、令和5年度建築と同じぐらいの件数が令和6年度もあるというのはちょっと考えにくいかなというふうに予想しています。というのは、令和6年度については今のところ大型の分譲マンションの建築の予定というのがございません。大型の分譲マンションって、例えば1軒建って50軒とか60軒とかで出てきますので、相当家屋の評価に対しては影響を及ぼすんですが、今のところ令和6年度に分譲マンションの建築予定はございません。

ただ、毎年なんですけれども、大体500棟から550棟ぐらいのペースで新增築家屋は上がっておりますので、令和5年度建築までにはいかななくても、例年どおりの500棟前後の新增築はあるのではないかなというふうに想像をしております。

ただ、今ももうできているんですけれども、分譲はないにしろ約2,000平米ぐらいの中型規模の賃貸マンションは幾つか建っておりますので、急激に税収が落ち込むということは考えにくいかなというふうに予想しております。

○委員（江川克哉君） ありがとうございます。

非常に我孫子市内で話題になっていますのが、我孫子駅周辺の土地の評価額の上昇率が首都圏第1位になったということで、それ以外にも、プロモーション活動として、都心にお住まいの方に、OLの方とかに、我孫子市に住んだらこんなにいいところだよというようなプロモーション活動もずっとやられていたと思うんですけれども、先ほどの御説明では、新しく建つ家の数は令和5年度比だとそれほど変わらないのではないかなというようなお話ですけれども、そういったプロモーション活動が非常に功を奏したのではないかなというふうに思ったんですけれども、それについてはいかがでしょうか。

○課税課長補佐（鈴木光一君） 課税課として正式にデータ分析をしたわけではございませんので。ただ、今委員おっしゃられたような要因も一つ考えられると思います。

それと、市の施策が幾つかうまくいっているとか、あとは皆さん御存じのとおり、都内にアクセスしやすい、もしくはまた、近隣市に比べても治安がよいとか、そういったことも要因としてはあると思うんですけど。

あともう一つ、これも想像なんですけれども、コロナ禍ということで、いわゆるテレワークが増えてきたと。その関係で住宅を購入する人が増えてきたのではないかなというふうに予想できます。そうすると、テレワークですから、何も会社に近くななくても1週間のうち何回かは行くんでしょう

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

けど、毎日会社に行かなくてもいいというような条件ですと、多少都内から離れても、土地が広がったりすれば、そこを購入したいと。また、価格もそこそお手頃な値段であれば、購入してそこに一戸建のマイホームを建てるといような傾向が増えてきたのではないかなというふうに予想すると、松戸市や柏市よりは、我孫子市のほうがまだ手に入りやすい金額設定だったということもあり、その辺が地価の上昇につながっていったのではないかなというふうに予想できるのかなというふうに思います。

○委員（江川克哉君） ありがとうございます。

当然、新しくおうちを建てようという方は、比較的若い方が多いかと思うんですけども、市内の人口の若返りにもつながってくるかと思しますので、とてもよい傾向だと思います。

今後とも引き続き何とぞよろしくお願いします。御答弁は結構です。

○委員（甲斐俊光君） 私は予算書42ページ、ちょっと簡単にいきます。

株ですね。一番最初の1番目、配当割交付金が前年度予算額が1億3,700万円のところが本年度は1億3,500万円と200万円減っています。次のところ、5款の第1項の株式等譲渡所得割交付金も前年度が1億1,700万円が1億1,100万円と、6年度は減っております。この株関係の税金、こちらの交付金を減らした予算にした理由を教えてください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 予算編成に当たっての要求額につきましては、基本的に県の試算をベースとしております。ですので、その内訳、要因につきましては、様々な要因が絡んでいるかとは思いますが、県のほうで様々な情報を基に、その配当額ですとか、譲渡所得の額を計算した結果、伸び率のほうを算定しているというふうに考えております。

○委員（甲斐俊光君） 私が言いたいことは多分分かると思うんですけども、今回補正予算で8,500万円あるんですね、株式等譲渡所得割交付金やっています。2億2,000万円になっていると思うんですね。多分当初予算に比べて随分差があると思うんです。

御存じのように過去最高の株高4万円を突破いたしまして、株に対して興味を持つ方、また譲渡される方も非常に多くなると思うんです。ここでちょっと予算減らすのはどうなのかなと思って。当然入ってくれば補正予算で対応するんでしょうけれども、やはり当初から予算を上げていないと、1億8,500万円の政策費とかあれば、別の施策も広げられるということもあるのかなと思うんですけども、ちょっと県に対応したということなんですけど、その点についていかがでしょうか。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午前11時53分休憩

午前11時55分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開します。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○財政課主幹（加藤靖男君） 現段階におきましては、ちょっと私どもとしてもその予算査定に当たった根拠としまして、基本的には県の推計以上のものがございませんので、現段階ではこの予算でいくしかないかなと。

今後こちらに増減が生じた場合には、すぐに補正予算のほうで対応させていただければと考えております。

○委員（坂巻宗男君） ちょっと市税全般について伺おうと思うんですが、その前に今のページでいうと、43ページの先ほどの補正でも質問をさせていただいた地方消費税交付金について1つだけ。この年度もやっぱり減額になっているんですよね。当初と比較してももちろん減額なんだけれども、先ほどの令和5年度末の金額と比較しても減額になっていると。

その理由が何か納入といたしますか、締め日と言えればいいのか、その曜日のずれがあってというふうなことで、ちょっとヒアリングをさせていただいたときもそういうふうな説明があって、それを聞いても私もよく分かんなかったんですが、これは曜日のずれというところで一体これほどの大きな額の減額等になるのか、その辺どういった背景で今回減額になっているのかお聞かせください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 今回、こちらも県の試算を基に額のほうを算定しておりますけれども、それに当たって県のほうもこの減額幅が大きいということで補足で情報をいただきました。

それによりますと、令和6年11月30日というのが一つ申告期限になるんですけれども、そちらが土曜日になる関係で申告期限が12月2日にずれ込みます。そういたしますと、国から県への払込額の一部が1月ではなくて2月のほうに一部流出いたします。市町村側のほうに令和6年度中に交付されるのが、県に1月までに払い込まれた精算後の消費税ということになりますので、令和7年2月に流出した分は令和7年度の歳入になるというような形になっております。

○委員（坂巻宗男君） 分かりました。

それで、ちなみにその額がどれぐらいの影響額なのかというのは、手元に来ているんですか。

○財政課主幹（加藤靖男君） その具体的な額は来ていないんですけれども、以前も同じように特定の期だけ、ぐっと収入が減ったときございまして、その際に県の税務課のほうにお伺いしたときには、1日ずれるだけでも相当な額と言ってもちょっと、本当にアバウトな言い方になってしまうんですけれども、相当な割合が翌期にずれるというふうに伺っております。

○委員（坂巻宗男君） 了解しました。その辺も情報をしっかり入れながらで。

そうすると、ただ、この減額分に関しては、この減額が全ての減額の3億数千万円というわけではないと思うんですが、その曜日ずれの分に関しては、令和7年度の予算に反映をされる、あるいは令和6年度末なのか。その辺でいずれにしても、歳入としては次年度前後で入ってくるというふうに思えばよろしいですか。

○財政課主幹（加藤靖男君） 現行のルールでは令和7年度の歳入になります。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ただ一方で、都道府県側から国のほうに、ちょっとそういったずれが生じることで、要は財源に穴が空いてしまうので、ちょっと対策を講じてくださいという要望を国のほうに出しているようなので、もしそれをやっていただければ、何らかの形で6年度中に入ってくる可能性もあるのかなというふうに考えております。

○委員（坂巻宗男君） 了解しました。

先ほど甲斐委員もおっしゃったけど、かなりこれもこれで大きな財源ですからね。この財源があれば年度内でまた新たな事業というふうなところも出てくるところもあるかもしれませんから、それはやはり県の情報などを適切に入れながら、適宜補正予算等対応していただきたいと思います。

この件は結構です。

前のページで市税になるわけですけれども、36ページ、37ページ。説明資料で言いますと、何ていうか、4ページからになるんですが、今回市税全体として179億円ということで、前年度比だと3.8%の伸びということでかなり高い伸びを示しています。

過去のデータで見ても令和2年度ぐらいから市税全体が上昇し始めるというふうな形。それまではどちらかという減少傾向が続いて、時によってちょっと上がったということがあるんですが、基本的にはだんだん、それこそ人口の減少とともに、少しずつ市税全体は減ってきているというふうな状況だったのが、令和2年度ぐらいから上昇に転じてきて、来年度でいうと179億円ということで。この179億円まで過去を見てもなかなか市税が伸びた年というのはいないですね。もちろんかなり遡れば、もちろん平成の時代等々はあるわけですけれども。

そういう中で、固定資産税は先ほど十分質疑ありましたから結構なんですけど、全体として伸びている要因ですね。特に個人市民税などに関しては、いわゆる所得の伸びというところなのか、あるいはその納税義務者数の伸びというふうな、あるいはその両方の要因があるのか、その辺はどういうふうな状況ということで、今回179億円までの予算組みになっているのかお聞かせください。

○課税課長補佐（落合知規君） 令和6年度の、現年度の市税の歳入の状況について説明させていただきます。

先ほど固定資産税について説明させていただきましたが、昨年度より増額している要因として、まず個人市民税でございますが、最低賃金の引上げですね、賃上げにより納税義務者の所得の上昇と、あと納税義務者も増えてございまして、昨年度より増額を見込ませていただきました。

あと、ほかには大きいところでは、たばこ税でございますが、近年たばこの売上げ本数が増えておりまして、今年度の実績等から、令和6年度の歳入を見込ませていただきまして、令和5年度補正させていただきましたが、それと同等の歳入を見込めると考えておりまして、そちらの要因から現年度として昨年度から4.1%増の178億1,517万1,000円を見込ませていただきました。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

ある意味では様々な要因が増加の方向に転じていて、全体的に伸びているということかなというふうには思っています。

確かに今お話あったたばこ税なども、本当にこのところで伸びていて、一時期コロナで都内などに行かずに、我孫子の市内で、いわゆるテレワークといいますか、仕事をするというふうな居住生活スタイルが出てきたんで、それで伸びたというところがあったかと思うんですが、それはどうなるんですか、たばこ税などに関していうと、それがもはや定着していて、今後このぐらいの財源なり、あるいは増加傾向で見込めるというふうな読みになっているんでしょうか。その辺はいかがでしょうか。

○課税課長補佐（落合知規君） たばこ税についてはですけども、たばこ税については近年、同じような形で消費本数が来ておりまして、理由として、コロナも明けていますので、細かい要因というのはちょっと把握はできていないんですけども、令和6年度見込ませていただきましたが、この数字については、同様に続くものだと考えております。

○委員（坂巻宗男君） 分かりました。

それから、いわゆる徴収率に関してですけども、これは令和6年度3月末に向かっているわけですけども、このところで令和6年度の見込みがどれぐらいになるのか、その辺はいかがなんでしょうか。

○収税課長（並内秀樹君） 徴収率に関しても、現年度分に関してはほぼもう99%に近い状態になっています。なので、99%というのは、過去1回令和3年度に到達しただけなんですけれども、それに近い徴収率で今後も推移していくと思っております。

あと滞納繰越分というのもあるんですが、滞納繰越分に関しましては、かなり徴収状況が今までよくて、滞納整理が進んできたところがありまして、ある意味取り尽くしてきた感がちょっと出てきまして、今後もしかしたら鈍ってくるようなこともあるとは思いますが、そこら辺は何か今までと同じ率を確保するように頑張っていきたいと思っています。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

今の99%っていうのは、恐らく個人市民税の現年課税分ということでしょうかね。

令和5年度で言うと、一応予算としては市税全体では96.5%徴収率を見込んでいて、この年度ずっとここまで来たということだと思んですが、この全体の数値としては96.5%に到達して、それを上回っているというふうなところから、令和6年度に関しては96.9%の徴収率という見込みを立てているのか。そこら辺の令和5年度末の比較等の考え方で、全体の徴収率、お聞かせください。

○収税課長（並内秀樹君） まだ令和5年度は決算が出ておりませんので、はっきりしたことは申

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

し上げられないんですけども、対調定に関する徴収率に関しましては、今のところ現年分で今のところ85.9%。これというのは昨年度に比べましてマイナス0.5%、滞納繰越分に関しましては33.46%で、1.99%の増で、合計しまして84.56%でマイナス0.37%の減なんですけれども、昨年10月から全体の徴収率を見ていると0.3%ぐらいのぶれはやっぱりありますので、今後まだ出納閉鎖まで3か月ありますので、それまで例えば毎月0.3%落ちちゃったなんていうことがなければ、ほぼ同じ予算どおりの数字になるのではないかと、ちょっと今のところは何とも言えないんですけど、考えています。

○委員（坂巻宗男君） いわゆる令和4年度との比較でいくと若干の減少が見られるということなのかと思います。令和4年度決算で見ると97.1%のかなり高い徴収率ですよ。ぐっと伸びてきたということになっていますよね、一時期よりもぐっと伸びて97.1%まで来た。

今のお話だと、令和5年度決算としては、この当初予算で見るところの96.5%の徴収率は確保するけれども、97.1%の令和4年度までは届かないというふうな見込みになるのか、あるいはその程度という見込みなのか、その辺はいかがなんでしょうか。

○収税課長（並内秀樹君） 徴収率に関しましては、ほぼほぼ行くというふうには考えています。申し上げ直します。

令和4年度の97.1%、令和5年度に関しても、特別マイナスの要因がなければ97.1%ぐらいはいけるんじゃないかというふうに今現在では考えています。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

大変、今もありましたけど、現年分に関しては、比較的徴収しやすい状況、納税していただきやすい状況があるのかなと思いますけれども、滞納については難しいところも多々あるかと思えます。

そういう中で今回は96.9%というところで予算を取って、市税全体を179億円まで持っていこうというふうな数値にしているわけなので、その辺ぜひ全庁一丸となって、この数値を超えられるようにぜひ頑張ってくださいと思います。答弁は結構です。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩いたします。

午後0時11分休憩

午後1時15分開議

○委員長（日暮俊一君） それでは再開いたします。

引き続き歳入に対する質疑を許します。

○委員（内田美恵子君） 予算書の104ページ、臨時財政対策債についてお尋ねします。

国の地方財政計画では、財政健全化のために赤字地方債である臨財債の大幅な発行抑制が続いて

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

おり、2024年度の臨財債は対前年度比0.5兆円の減額となっております。それに伴って、市の令和6年度の臨財債も大幅に抑制され、対前年度比2億4,000万円減の1億3,000万円となっています。本年度の臨財債の発行額について、市の考えをお聞かせください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 基本的には臨財債単体というよりも、交付税との合算で考えるものなのかなというふうには考えておりますが、基本的には市の借金になりますので、この部分が抑制されたことについては、いい傾向に行っているというふうに考えております。

○委員（内田美恵子君） いい傾向だということで私もそうは思いますけれども、まず、2022年度以降、臨財債が急激に減少してきたわけですけれども、臨財債のピーク時の臨財債の予算額と市債総額に占める割合、分かればお聞かせください。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午後1時17分休憩

午後1時18分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開します。

○財政課主幹（加藤靖男君） おおむねの話になりますが、令和入ってすぐ、令和元年度、2年度頃、この頃に年度末の起債総額に対する臨財債の割合がおおむね7割を少し超えるぐらいで、このあたりがピークかなというふうに思います。

○委員（内田美恵子君） 先日、市債借入額の推移ということで、担当者のほうから臨財債の借入額と、臨財債を除いた市債の借入額、それから市債総額の資料を出していただいたんですが、これを見ると、2022年度頃残高のピークは過ぎているということで、私が調べたところピーク時には、市債総額の72%を臨財債が占めていたということだったこれ、決算ベースですけれども占めていたと思います。

今年度激減した中で、市債総額に占める割合を見ると、たったの4%になっていると思いますけれども、国が最近臨財債を抑えて、ここ3年大幅に国のほうも抑制しているわけですが、今後この傾向は私は続くと思うんですけれども、どのようにお考えになっているのか、お聞かせください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 臨財債の借入額自体は、国のほうの財源の状況にもよりますので、今後見通すことはなかなか難しいところではあるんですけれども、ここ近年の動きを見ると、毎年減ってきておりますので、よほど税収等に影響がない限りはその傾向が続くかなというふうには考えております。

○委員（内田美恵子君） 私、毎年、当初予算を審議する前に、国の財務省の職員さんとか、総務省の方とか、当初予算についての考え方とか、その辺を勉強させていただく機会を持っているんですが、数年前から本当にあまり質のよくない歳入だから、極力国のほうとしても今後減少させて

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

いきたい。そういう傾向が顕著に今年度なんかは出てきたなと思っているんですけども、やはりよっぽど国の歳入が減少しない限り、今後、臨時財政対策債というのは減少させていくんだろうなど。

今、4%ということは、ほとんどないというように近いんだと思うんですけども、そもそも平成13年にこの臨財債という制度が始まったときには、臨時財政対策債ですから臨時の制度ということで始まったわけですから、当然、国の交付税特会が何とかよくなれば、それこそこういう制度がなくなっていくのかなと思います。

なんでこういうことを重要視しているかということなんですけれども、やはり臨財債は、皆さんも交付税の代替財源というふうな捉え方をしているように、償還時には全額ではないかもしれませんが、ほとんどこちらで考えなくてもいいということだと思っておりますけれども、その臨財債がなくなってしまうと、今まで限度額いっぱい到我孫子市なんかは借りていましたので、今後の事業の財源をどうしていくかというのが本当に大きな問題になってくると思います。その辺をどうしていくかということを考えないと、これから大変になってくる、財政状況がより厳しくなってくるんじゃないかなということで質問しているんですけども。

それで、今回2024年度は大幅に臨財債が下がったという中で、事業の財源、先ほども大型事業がたくさんあったから、財政規模が大きくなったという御答弁がありました。どのように今年度は、臨財債に代わって財源を確保したのか、お聞かせください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 当初予算で収支のバランス取るに当たりましては、まず経常予算につきましては、何とか収支をほぼとんとん、少し財源が生まれる程度まで持っていくことができました。

一方で、政策事業に当たりましては、起債を中心に財源の手当てのほうをしておりますが、そこでも賄えない部分につきまして財政調整基金のほうを繰り入れたという形になっております。

○委員（内田美恵子君） 財政調整基金も繰り入れたということだと思いますが、そのほかに臨財債を除いた市債発行を大幅にとりか、増やしたということではないですか。

○財政課主幹（加藤靖男君） 令和6年度予定します大型事業の財源としまして、昨年度と比較すると、多額の借入れのほうを行ったという形になります。

○委員（内田美恵子君） それで、今、大型事業の政策的経費を捻出するために、その他市債というか臨財債以外の市債を増やしたということが御答弁にありましたので、続けて臨財債以外の市債についてお尋ねします。

2024年度の臨財債以外の市債は、対前年度比16億5,960万円増の27億7,230万円と増大しております。また、通常債の発行額は、通常債というのはこの臨財債以外の市債の発行額は、臨財債の発行額の約2.1倍となり、市債総額の約9.6%を占めています。臨財債以外の市債

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

がこれほど増大したことについて、理由ではなくて、所見をお聞かせください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 令和6年度の当初予算編成に当たりましては、財政規律も念頭に置いた上で、予算編成のほうを臨んだところでございます。

ただ、地方債の発行額につきまして、例えば、特定の起債種別が時限措置として国のほうで用意していただいているものであることですか、あとはもう事業自体が継続費等を設定して、そのスケジュールどおりいかなければならない状態になっているものなど、今回、大分重なった結果、ちょっと起債額のほうが増えすぎてしまったのかなというふうに考えております。

○委員（内田美恵子君） それは、増大した理由であって、その増大したことについて、どういふふうに担当課としてはお考えになっているか、その辺の所見をお聞かせください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 財政規律上、相当今回超過しておりますので、ここは複数年の考え方の中で、全体として規律が達成できる方向に持っていかねばならないというふうに考えております。

○委員（内田美恵子君） ぜひそうしていただきたいんですが、この予算編成の状況、編成状況の公開っていつも出しているものがあるんですが、この中に、この地方債の借入れについてというところですか。これはページ書いていないんですが、分かりますかね、地方債の借入れについてというところなんですけれども。

そこで、今回、財政規律が大幅に増加したということに対する理由が書いてあります。今、御答弁のあったように、意識はしていただけれども、予算案の策定を意識して進めていただけれども、時限的かつ交付税措置がある緊急自然災害防止対策事業債や公共施設等適正管理推進事業債を活用するため、その他通常債の発行目標額を上回ることになりました。まさに今御説明のあったことだと思います。

その続きとして、今後も、老朽化が進む公共施設等の改修や更新などの実施には、地方債の活用が欠かせない状況ですが、というふうが続いていらっしゃると思います。確かに、今後もというよりも、今後一層、公共施設の改修費用とか、そういうのは増大してくると思います。

そんな中で、今回限りであればまだ分かるというか、しょうがないかなと思いますけれども、今後もこのような状態が続く可能性もあるわけですね。ここに書かれているように、事業は大型事業がどんどん増えてくるんですから。そうなったときにどうしていくかということを考えると、とても心配です。今後の市債残高も増え、公債費も増えてくるんじゃないかと。この償還時期といったら、10年以上先のことだと思いますが、そのようなときのどうしていくかというのは、やはり今だけよければいいということではないと思うんですけれども、その辺をどういふふうにお考えになっているんでしょうか、財政当局としては。

○財政部長（中光啓子君） おっしゃるとおり、今回様々な事業を採択していく中で、多くの事業

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

が提案されてきました。そういった中で、財政当局、企画総務部、それから所管課とも協議を重ねた上で、私としても今回実施すべきものということで、令和6年度の予算は採択し、予算計上させていただいております。

ただ今後も引き続きいろんな事業が重なっていく中で、予算編成自体は単年度ですけれども、長期的な視点というのは本当に欠かせないものとなっております、認識しております。ですので、国・県の補助金はもとより、財源を確保するために、起債についても最大限有効なもの、より条件のよいものを選定しながら、長期的な視点で事業の選定と、今後の予算編成、そこはしっかりと念頭に入れてやっていきたいと思っております。

事業についても、やりたいもの、やるべきもの様々ある中で、状況によっては思い切った判断と採択、そういったものも必要になってくると思っておりますので、そこはしっかりと庁内でも協議を重ねてやっていきたいと思っております。

○委員（内田美恵子君） ちなみに、この時限的かつ交付税措置がある緊急自然災害防止対策事業債、それから公共施設等適正管理推進事業債、これは2024年が時限というのは、2024年だけに出される債権だったのか、それとも何年かの枠の中にあつた債権になったのか、またどこに使つたのか、その辺をお聞かせください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 緊急自然災害防止対策事業債につきましては、令和7年度までの時限措置となりまして、今回の活用といたしましては、排水施設整備事業、金谷樋管の改修のほうで活用しております。

それから公共施設等適正管理推進事業債につきましては、令和8年度までとなりまして、基本的に公共施設の老朽化対策のほうに広く活用しているものとなります。

○委員（内田美恵子君） そうすると、どちらにしても、2024年に活用しなければ使えないというものではなかったという認識でよろしいですね。

○財政課主幹（加藤靖男君） 令和6年度までではないという意味におきましては、おっしゃるとおりでございます。

○委員（内田美恵子君） それで、考え方なんですけれども、これまでいわゆる財政規律、ここで資料を頂くと財政の地方債借入れの方針と括弧して書かれているので、私が思っているような財政規律というよりも、もっと緩やかなこととして皆さんはお考えになっているのかなとも思うんですけれども、これまでは本当にいろいろ年度、年度で大変御苦労されて予算編成をされてこられたわけなんですけれども、17億円以上という、こんなに大幅に目標額をオーバーしたことは私は記憶にないんですけれども。もう事業が本当に多くなったということも私も認識しておりますし、今後ますます多くなるだろうし、歳入のほうは本当に少子高齢化の進展です。あまり伸びないと思っておりますし、そんな中で本当にどうしたらいいかと、私自身もすごく悩むところではありますが、やは

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

り財政規律というからには、それなりに単に意識したから、結果はどうあってもいいというものは私はないと捉えております。

それで、これまでの財政規律の推移も出していただきました。平成20年度から一応財政規律というものを設けて、後年度負担を増やさないようにということで、皆さん一生懸命そのときそのときの状況に合わせて財政運営してくださってきたわけですが、本当にこれを見ると4回変わっているんですね。今回の財政規律まで。

私を感じるのは、財政規律そのものがどんどん緩んできているなという印象はあります。致し方ない部分も、今回の臨時臨財債が急激に減ってしまったというようなところでは、対応に苦慮されたということは重々承知しておりますが、やはり財政規律は財政規律なんですよ。ですからその辺は、結果も意識するだけじゃなくって、結果も財政規律により合わせていくようなことを考えていかないと、どうしても次の世代にツケを回すことになってしまうと、私は思います。

その辺のことをどうしていったらいいかということ、今、結論出ないと思いますので、市債とか臨財債の状況だとか、それらをひっくるめて今後の財政規律の在り方、このままでいけば、17億円も財政規律からオーバーして、これは結果としてオーバーしてしまったということが続けていくと、これは財政規律だって言えないですよ。

よそ様に言わせると、ころころ変わるの本来、財政規律ではないだろうよというふうにも私は言われますので、この先どうしていくかということ、ぜひ、今年度はもうこのままで行かせていただくという財政当局の御意見だというふうに伺っていますが、今後どうしていくかということ、私、最終的に、最終日までに御検討いただきたいなと思います。

具体的な策がないにしても、見直すということは、この数年の経緯を見ながら、臨財債の動向を見ながら、考えていただきたいなと思います。

以上です。

○委員（坂巻宗男君） 79ページになります。ふるさと納税の関係です。

この令和6年度も3,400万円の歳入を見込んでいるという形になって、これは令和5年度当初と同額というふうな形になるんですが、まずこれを令和5年度と同額にした理由についてお聞かせください。

○財政課長（関口浩紀君） 予算計上のほうは、昨年と同様の3,400万円ということで予算計上させていただいています。

なぜかというところですが、やっぱりどうしても相手があるということと、今の現状ですと、令和5年度の見込みですが、それから考えると寄附件数は増えているんですが、やっぱり額が、令和4年度は大口の寄附が多かったというのもあるんですが、令和5年度の推移を見ると妥当な金額かなと考えて令和6年度、今年度と同様の金額にさせていただきました。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○委員（坂巻宗男君） 令和6年2月までというところでの資料を頂きました。件数は1,022件ということで、1,012件というのが令和4年度ということなので、令和4年度と比較して2月まででも10件ぐらい上回っている。ただ、令和4年度が4,100万円を超えていた額であったのに対して、2月までで3,000万円ちょっとというふうな形なので、ある意味では予算額等は妥当な金額とも見えるんですけども、令和4年度と比べるとどうしても開きが出てしまっているという状況です。

ふるさと納税全般が全国的にそういうふうな形なのであれば、それは納得するところでもあるんですけども、令和6年他市への寄附金の額が出ていないにせよ、令和4年度までの他市への寄附金額で見ていると、毎年1億円から2億円ぐらいの幅で我孫子市民の方々が寄附をしていて、令和4年度の段階で9億6,700万円ということですから、恐らくはこの令和6年度、10億円を超えるぐらいの額が他市へ行き、そこから市民税の控除額というところでいくと、5億円ぐらいは増えてしまうのかなと。本来なら我孫子市に入ってくる市税が、そのぐらい減ってしまうのかなという。もちろん地方交付税措置というふうな話もありますけれども、しかし、やはりもう少しそういう意味では、我孫子市に入るふるさと納税の額を増やしていきたいという思いはあるわけですね。

そういう意味では、令和5年度、件数は増えたんですけども金額が減ってしまっているというあたりで、財政課としてはどういった考え方をしているのか、その辺はいかがなんでしょうか。

○財政課長（関口浩紀君） 令和4年と5年の見込みを比べますと、4年のほうがゴルフ用品が件数1件1件は高いんですけども、それが大体1,500万円ぐらい入っていました。今、見込みで令和5年度ですけれども、1,000万円切るぐらいというところなので、そこで大体500万円ぐらい。あと、令和4年度500万円という大口の寄附がありまして、それで今回、令和5年と4年との差額ということでいうと、ちょっと大きな開きがあるのかなと。

さっき言われたように、なるべく大きな寄附額が入ってくると、やっぱり収入としても大きいんですけども、今回は件数は増えているんですけども、小口の寄附というか、あまり大口の寄附が増えていないというところが現状で、今後はなるべく大口の寄附を頂きたいというところはあります。

○委員（坂巻宗男君） そうですね。資料を頂いていて、比較的、商品名で言うと常にウナギが、例えば令和5年度でも今、1位は「炭火焼き国産うなぎかば焼き2尾（タレ・山椒付）」ということで、2万円の寄附で85件、170万円というのを筆頭にだ一つとあって。私もざっと計算すると、ウナギだけで大体800万円を超えるぐらいの額があるんですよ、寄附額として。これはどうも令和4年度も同じぐらいの額なので、ウナギは減っていないのかなと思うんですが、さっき言ったようにゴルフのところが減ってしまった。

それを例えばゴルフなどの商品で見たときには、例えば商品の件数自体が減ってしまっていたの

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

か、それとも、そういった意味でのメニューは増えているんだけど、純粋に寄附していただける方が減ってしまっているのかとか、その辺の分析というのはできているんですか。

○財政課長（関口浩紀君） すみません、細かくまではちょっとそこは分析してなかったんですが、入ってきた金額ということで。私はちょっとゴルフはやらないんですけども、やっぱり1回高価なものを買いますと、ウナギでしたらリピーターじゃないですけど、そういったところもあるのかなというところはちょっと考えます。

○委員（坂巻宗男君） もちろん、同じ方に常に毎年毎年ゴルフのクラブをお願いすることにはならないんですけど、ただ、ゴルフのクラブって、私、非常に我孫子の面白いアイデアだなというふうに思っていて。そういう意味ではやはりPRの仕方というのも大切なんだろうと思うんですね。

メニューがもし減ってなくて寄附が減ってしまっているんだとすれば、それは、より全国的にももう少しPRできるような仕組みがあれば、もっとそれは伸びるのかもしれないというところあるし、それから、ウナギに関して、我孫子のウナギというのは、一つ定着の兆しはあるんだろうなと思うんですけども、これ、例えば今、ウナギをやっている会社、事業者というのは、何者あるんですか。

○財政課長（関口浩紀君） 2者になります。

○委員（坂巻宗男君） もしこれ、1者から始まって、今2者になったということじゃないかと思うんですけども。市内まだウナギ屋さんなどもあつたりするわけで。そうすると、もう少しこのメニューなどを増やして、我孫子のウナギというのは、やっぱり寄附なら我孫子市にさせていただいて、選ぶなら我孫子市のウナギを選ぼうみたいな、そういうふうなイメージを定着させていくというのも非常に大切だと思うんですけども、その辺で、もう少しこのウナギをメニューとして増やしていくとか、特化していくとか、PRしていくとか、そういったお考えなどはあるんですか。

○財政課長（関口浩紀君） ウナギに関しては、今年度からですけども定期便という形で、3か月ごとに定期的に送るというような新しい寄附方法を導入したところです。

ほかのところも、御協力いただければなるべく、一つはやっぱり裾野を広げたいというところがありまして、商品の数を増やすというのが一つ大事なところかなというふうに考えております。

○委員（坂巻宗男君） ぜひ、そういう意味では市内ウナギ屋さんまだありますし、いろいろな形で加工品とかやりようもあるのかもしれないので、ぜひいろいろと工夫をしていただきたい。

あともう一つ令和5年度で特徴的なことのひとつが、これ復活という形でいいのか、いわゆる手賀沼花火大会のアビスタの屋上観覧席を設けることで、これだけでも130万円の寄附をいただいていますよね。これなども非常に重要なことだと思っているんですけども。これは、どうなんですかね、その人気としては高いというふうに考えてよろしいのか、その辺の状況は令和5年度はいかがでしょうか。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○財政課長（関口浩紀君） 昨年、準備も含めて、同席というか、行ったんですけれども、皆さん大分好評でした。皆さん帰りがけに、お礼というか、よかったということで、御帰宅いただいたというところで、これはかなり好評だったなというふうに感じています。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

これは3万5,000円と3万円の寄附で20席ずつというか20件ずつという形ですよ。これなどはね、だからそういう意味で言うと我孫子の一大イベントで、本当に柏市と合わせてですけれども、30万人から人が来ると言われている非常に大きな我孫子市にとっての特徴になるんですけれども、この辺でのメニューをもう少し増やせないか。

例えば、席だけじゃないかもしれないんだけど、こういった手賀沼の花火に関わるような、何かがないのか。それはそれこそ、あるのかしら。普通に寄附というか、何尺玉なんかを上げてもらうのにお金を出すみたいなこともあるわけですよ。

そういうようなものも、例えばふるさと納税のメニューにしてみるとか、いろんなその花火大会に関わるようなメニューを考えるというのは、我孫子にとっても、いろんな形で、手賀沼というところの売出しも含めてプラスになるんじゃないかなと思うんで、その辺少し工夫してみたらいかがかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○財政課長（関口浩紀君） 今おっしゃられたとおり、ちょっと私は人数を増やしたりとかってちょっと頭にあったんですけれども、やっぱり安全性の関係だとか、あんまり人数が来られちゃってもとか。ただ今言ったように関係ですね、そういった花火大会の関係で、何かそういったものが取り入れられるものがあれば寄附につながるものでしょうから、ちょっと考えていきたいなと思います。

○委員（坂巻宗男君） 最後にします。

今のはウナギとゴルフと、手賀沼花火ですけれども、それ以外にもやっぱりいろいろと我孫子の魅力につながるような商品メニュー、まだまだあると思いますので、ぜひこれは本当に市役所だけじゃなくて、民間の方々とか市民の方々の意見を聞きながら、いろんな形で商品開発を続けていていただきたいと思います。お願いします。答弁結構です。

○委員（内田美恵子君） 予算説明資料4ページの個人市民税についてお尋ねしたいと思います。

先ほどから市税の話が出ておりますけれども、個人市民税についても対前年度比3.9%増、額にして、およそ3億円程度増となっております。先ほど増加の要因としては、個人の所得が増えたというようなことも御答弁にありました。

そこで、ちょっと経年で見てみると、2022年度は前年度から2.7%増、2023年度が1.9%増、そして2024年度は3.9%増と、ここ数年増加しているわけですけれども、私がちょっとこれどうしてなのかなと思ったのは、人口減少とか高齢化に伴って生産年齢人口は当然ず

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

っと減っておりますけれども、そうすると単純に考えると納税義務者も減るのかなと思ったんですが、納税義務者のほうは微増しているんですよ。

この理由としては、退職者も納税義務者に加わっていくからという理解でよろしいのかどうか、その辺、御答弁いただきたいと思います。

○課税課長（飯塚直則君） 委員御指摘のとおり、退職された方は大半は65歳以上の方が多いです。給与所得者から年金所得者へ移り変わりますけれども、納税義務者としてはカウントされますので、おっしゃるとおりであります。

○委員（内田美恵子君） 分かりました。

それで、個人市民税の所得者区分別課税額というのを見ますと、給与所得者の所得割額のほうも増加しているわけです。それで、高齢化率の高い我孫子市で、給与所得者で退職した方も多いと思いますけれども、給与所得の所得割額が増加している理由というのは、先ほどと同じでよろしいんですか。

○課税課長（飯塚直則君） 令和6年度に関しましては、令和4年から物価高騰等によって、各企業が賃金のベースアップやボーナスの支給率などもろもろの手当を上げた結果、令和5年度の課税額がかなり上がってきている状況になっています。令和6年度に関しても同様の状況が続いているという部分で、所得割が増えるだろうという見込みで予算額のほうも増額させていただいております。

○委員（内田美恵子君） 分かりました。

それで、御存じのとおり我孫子市の歳入の根幹は、市民税のうちの個人市民税で、現段階でも49.5%。以前は50%を超えていたわけですよ。だけど、割合が減ったとはいえ、今も半分ぐらいは個人市民税で歳入を何とか賄っている。まさに住宅都市だなということがこのことで分かると思うんですけれども。

それで、自主財源の本当に中心となっているものが個人市民税だということだと思いますので、今後の個人市民税を予測するためにも、私は納税義務者の世代別の把握などが必要なのかなと。先ほどから質問していますが、納税義務者の中には退職者も入っているわけですよ。そうすると生産年齢人口、いわゆる現役世代だけでなく、いろいろな層が納税義務者になっていて、所得割の額も多少増えているということなので、今後のために納税義務者の世代構成などを把握する必要があるのかなと思うんですけれども、そのような把握というのはされているのでしょうか。

○課税課長（飯塚直則君） 市税概要を作成する上で、国に報告している課税状況調べというのから抜粋して数値のほうを出しているんですけれども、ちょっと今手元に課税状況調べの調書がないんではっきりと申し上げられませんが、私の記憶ではそちらの調書の中でもちょっと世代別の納税義務者数とか所得割額というのは、たしか算出してなかったと思いますので、今現在ちょ

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

っと把握ができていない状況だと考えております。

○委員（内田美恵子君） 私もいつも頂くと、とてもあれ参考になるので見させていただいているんですが、ぜひ今後、別に載せなくても、市としては担当者レベルでは把握していくことが必要なのかなと。今後、歳入の、特に個人市民税の予測をする上でも必要になるのではないかなと思いますので、現在把握されていないようであれば、ぜひ把握していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○課税課長（飯塚直則君） 数値のほうは積算できるかと思しますので、今後、把握に努めながら、今後の市税の推移等の試算にもちょっと活用していければと思います。

○委員（内田美恵子君） 2024年度の個人市民税の予算額の中には、国の定率減税の減税分を見込んでいるのか見込んでいないのか、そのところを確認させていただきます。

○課税課長（飯塚直則君） 予算編成の段階、年末までになりますけれども、そちらの段階ではまだ閣議決定もされていませんでしたので、定額減税を行う前の額での予算額となります。

○委員（内田美恵子君） すると、そうすると今回の予算の中には、定率減税の減収分を見込んでいないということだと思うんですが、他市では見込んで入れ込んでいるところもあるようですけれども、我孫子市ではこの定率減税の減収分をいつ頃、どのように処理していかれるのか、お聞かせください。

○課税課長（飯塚直則君） 令和6年度の当初課税がある程度確定する6月に、ほぼおおむねの金額が算出できますので、その段階で予算措置を行った上で、給付金と減税の手続のほうを進めていく予定ではおります。

○委員（内田美恵子君） 定率減税の減収分は、おおよそで結構ですが、どのぐらいとお考えになっているんですか。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午後1時57分休憩

午後1時58分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開します。

○課税課長（飯塚直則君） まだ正式にちょっと把握が確定できていません。当然今申告が上がってきている状況ですので、6月頭の賦課が固まらないと、本当にはっきりした額が分からないんですけれども、多分8億円から10億円程度の金額にはなってくるのかなと。

市民税の減税額ということで、今ちょっとお答えしたんですけれども。

○委員（内田美恵子君） 最後にしますけれども、定率減税による減収分は、国のほうでは（仮称）定額減税減収補填特例交付金で補填されるって言っているんですけれども、この特例交付金に

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

については基準財政収入額に75%を算入することとされているとも言われているんですが、国のほうの交付金のほうは100%なんです。だけど地方に渡すところは、結局、基準財政収入額に減収分の75%を算入するというふうに、書類なんかにも書かれているんですけども、この辺は皆さんどのお考えになっていますか。

○財政課主幹（加藤靖男君） もともと交付税の算定上、市税収入につきましても75%算入しておりますので、その部分は行って来いの関係というか、特段、定額減税したことによる悪影響は出ないというふうに考えております。

○委員（内田美恵子君） どうも、見ると、そういうことではないような書きぶりなんです。それで、これは後でまたしっかりと確認していただきたい。100%出るなら問題ないんですけども、そういう書きぶりではないので、ちょっと後で書類も見せますので、検討を願いたいと思います。

以上です。

○委員長（日暮俊一君） ほかにありませんか。

○委員（内田美恵子君） 先ほど個人市民税のほうで、定率減税の減収分をまだ盛り込んでいないということなんです。44ページの地方特例交付金を見ていただきたいんですが、これも前年度より600万円減少していますので、この地方特例交付金のほうにも定率減税の減収分を入れていないと考えてよろしいんですね。

○財政課主幹（加藤靖男君） そのとおりでございます。

○委員（内田美恵子君） すみません、私、定率減税と言っていましたけど、定額減税の誤りですので、訂正させていただきたいと思います。それで御答弁をお願いします。

○財政課主幹（加藤靖男君） まだ加味していないということで、そのとおりでございます。

○委員（内田美恵子君） そうすると、先ほどの個人市民税のほうで、減収になった時点でこの地方特例交付金のほうの増額をするということによろしいですか。

○財政課主幹（加藤靖男君） はい同じタイミングで補正を考えております。

○委員長（日暮俊一君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩いたします。

午後2時03分休憩

午後2時05分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開いたします。

歳入に対する質疑を保留いたします。

暫時休憩いたします。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

午後 2 時 0 5 分休憩

午後 2 時 1 5 分開議

○委員長（日暮俊一君） それでは再開いたします。

これより歳出等について、当局の説明を求めます。

○財政部長（中光啓子君） それでは、歳出の主な項目について事項別明細書により説明いたします。

初めに、106ページ、款1議会費は2.3%増の3億681万9,000円を計上します。

項1議会費、目1議会費のうち、丸の3つ目、議会事務運営費では、議会ペーパーレスシステム導入業務委託料など、議会事務の効率化などを推進するための経費を計上します。

108ページ、款2総務費は6.6%増の48億2,112万8,000円を計上します。

項1総務管理費、116ページになりますが、目3情報公開費のうち、119ページ、丸の2つ目、シティプロモーションの推進事業は、情報発信委託料など市の魅力を広く市内外に情報発信するための経費を計上します。

124ページ、目7財産管理費のうち、125ページになりますが、下から2つ目の丸、庁舎維持補修費における施設維持補修工事費は、議会棟の大規模改修工事などを実施するものです。

132ページ、目11電子計算情報管理費のうち、一番下の丸、電算管理運営費のうち、135ページになりますが、上から10行目、標準化関連システム導入業務委託料には、令和7年度末までに住民記録や税、福祉などの主要20業務を標準準拠システムへ移行するため、その導入支援に係る経費を計上します。

134ページ、目12市民危機管理対策費のうち、137ページになりますが、1つ目の丸、災害非常用対策事業の中段、ハザードマップ作成業務委託料は、ハザードマップを更新し全戸に配布するものです。

また、次の行の地域防災計画及び業務継続計画修正業務委託料は、災害予防や災害対策の円滑な実施に向け、これらの計画を修正するものです。

138ページ、目13市民活動支援費のうち、141ページになりますが、上から8行目、近隣センター施設整備工事費は、老朽化した近隣センター4館の改修工事を実施するものです。

152ページ、項3戸籍住民基本台帳費、目1戸籍住民基本台帳費のうち、155ページになりますが、1つ目の丸、行政サービスセンター管理事務費の下から5行目、行政サービスセンター改修工事費は、湖北行政サービスセンターと湖北台行政サービスセンターを統合し、湖北駅南口に湖北台行政サービスセンターを開設するため、改修工事を実施するものです。

164ページ、款3民生費は、7.8%増の215億7,425万2,000円を計上します。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

項1 社会福祉費、目1 社会福祉総務費のうち、171ページになりますが、丸の3つ目、国民健康保険事業特別会計への繰出金となり、対前年度比5.1%増となっています。

176ページ、目4 高齢者福祉費のうち、179ページになりますが、下から3つ目の丸、施設整備費等補助金は、令和7年3月開設予定の特別養護老人ホームの整備事業者に補助金を交付するものです。

また、次の丸、特別会計繰出金は、介護保険特別会計への繰出金となり、対前年度比0.8%増となっています。

182ページ、目8 あらき園運営費のうち、187ページになりますが、あらき園施設改修工事は、個別施設計画に基づき長寿命化改修するものです。

190ページ、目11 後期高齢者医療費のうち、一番下の丸は、後期高齢者医療特別会計への繰出金となり、対前年度比10.1%増となっています。

196ページ、項2 児童福祉費、目3 児童保育費、197ページ中段、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者補助金は、保育園等の給食用食材費の高騰が続いていることから、保護者の経済的負担を増やすことなく、安全・安心な給食を提供するため、食材費の上昇分の一部を私立保育園等に補助するものです。

198ページ、目5 保育所費、201ページになりますが、3つ目の丸、公立保育園運営費の下から6番目、保育園給食調理業務委託料は、質の高い給食の安定した提供に向け、湖北台保育園の給食調理業務を民間に委託するものです。

210ページ、目8 子ども相談業務運営費の2つ目の丸、会計年度任用職員人件費は、ヤングケアラーコーディネーターとして心理相談員を配置し、併せて設置するLINEを活用した悩み事相談窓口の回答や運用を兼任するものです。

214ページ、款4 衛生費は、14.3%減の36億4,367万8,000円を計上します。

項1 保健衛生費、目1 指導衛生費のうち、219ページ、一番下の丸、親と子の健康づくり推進事業で、221ページ、上から5番目の産後ケア事業委託料は、利用対象者を拡大するとともに自己負担額の減免支援を拡充するものです。

222ページ、目3 救急医療対策費のうち、225ページになりますが、一番上の丸、救急医療整備事業の一番下、小児科診療助開業促進事業補助金は、安心して子どもを育てる環境づくりに向けた千葉県内初の取組として、市内西側に小児科専門の診療所を開設した場合に補助金を交付するものです。

242ページ、目3 資源化事業費のうち、下から2番目の丸、資源化施設整備事業は、資源化施設の整備計画を策定し、建設用地となる旧焼却施設敷地の土壌汚染対策工事設計を行うものです。

248ページ、款5 農林水産業費は、8.7%増の3億3,497万6,000円を計上します。

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

256 ページ、項1 農業費、目3 農業土木費のうち、259 ページになりますが、丸の1つ目、幹線排水路維持管理費の外来水生植物防除業務委託料は、農業用排水施設に繁殖している外来水生植物の防除をするものです。

260 ページ、款6 商工費は11.4%増の4億1,061万7,000円を計上します。

264 ページ、項1 商工費、目3 観光振興費のうち、2つ目の丸、観光振興策の推進事業の一番上、イベント出演報償費は、ふるさと大使である漫才コンビ・ナイツの塙宣之氏を中心とした、お笑いライブを実施するものです。

267 ページになりますが、丸の1つ目、レンタサイクル・ミニ鉄道運営事業では、手賀沼周遊レンタサイクルにスマートフォンを活用し、年中無休で貸し出せるスマートサイクルの導入費を計上します。

また、次の丸、観光情報の発信事業では、スマートサイクルの導入に併せて、自転車での訪問に適した観光スポットなどを紹介する、自転車観光ポータルサイトの開設費用を計上します。

続いて目4 消費対策費、一番下の丸、消費者啓発事業では、消費生活センターをアビイクオーレ2階に移転するための費用を計上します。

268 ページ、下段、款7 土木費は、20.5%増の42億3,939万3,000円を計上します。

274 ページ、目2 道路維持費のうち、一番下の丸、道路維持管理費、277 ページになりますが、中段、街路灯設置工事費では、我孫子駅南口、北口、後田橋、湖北駅北口の街路灯をLED化する工事費を、また、次の丸、道路維持補修費では、個別施設計画に基づく舗装工事や船戸跨線人道橋の修繕、道路擁壁の点検などの経費を計上します。

278 ページ、目3 道路新設改良費の1つ目の丸、道路新設改良事業では、布佐小学校入り口の交差点改良や並木小学校通学路の拡幅、土谷津地区の道路整備のほか、公園坂通りの交通量調査などに要する費用を計上します。

282 ページ、項3 都市計画費、目3 街路事業費のうち、一番下の丸、下ヶ戸・中里線等道路改良事業では、用地の取得費などを計上します。

284 ページ、目4 都市排水費のうち、287 ページ、一番上の排水施設維持補修費では、金谷排水機場の更新工事費や、つくし野川の現況調査費用を計上します。

289 ページ、目5 公園費の丸の3つ目、手賀沼遊歩道再整備事業では、護岸や路面の修繕などの経費を計上します。

また、2つ下の丸、公園再整備事業の利根川ゆうゆう公園施設整備工事費では、トイレの更新工事費を計上します。

291 ページ、1つ目の丸、公園維持補修費の施設整備工事費では、定期点検により使用禁止と

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

なった公園遊具の更新工事費などを計上します。

また、丸の3つ目、公園施設維持管理費では、国補助金を活用し、公園施設長寿命化計画に基づく老朽化した公園遊具の更新工事費を計上します。

294ページ、目7交通計画費のうち、丸の4つ目、交通網整備促進事業の地域公共交通計画策定支援業務委託料は、持続可能な公共交通を維持するための指針となる計画の策定に要する経費を計上します。

また、丸の下から2つ目、負担金・補助金のうち、地域公共交通会議負担金は、成田線の補完を目的としたシャトルバスの実証運行に要する経費を計上します。

一番下の丸、駅施設維持管理費の297ページ、上から4行目、湖北駅自由通路修繕負担金は、老朽化の進む湖北駅自由通路の屋根修繕に向けた設計に要する費用を計上します。

丸の1つ目、鉄道駅バリアフリー設備整備事業の地域公共交通バリア解消促進等事業負担金では、JR東日本が実施する我孫子駅常磐線、常磐緩行線のホームドア設置に係る負担金を計上します。

目8公共下水道費の下水道事業会計繰出金は、下水道事業会計に対する補助金などを計上し、前年度比22.4%の減となっています。

丸の下から2つ目、下水道課の下水道事業会計繰出金のうち、下水道事業会計出資金では、下水道事業の経営安定化に向けた出資金を計上します。

298ページ、項4住宅費、目1住宅維持管理費のうち、4つ目の丸、市営住宅維持管理費の給排水管等改善工事設計業務委託料では、公営住宅等長寿命化計画に基づく改善工事に向けた設計費を計上します。

300ページ、款8消防費は24.7%増の22億8,496万7,000円を計上します。

項1消防費、目1常備消防費のうち、3つ目の丸、消防庁舎維持補修費では、消防本部庁舎の空調設備工事や東消防署の個室型仮眠室設置工事などに要する経費を計上します。

また、一番下の丸、消防施設等整備事業では、（仮称）湖北消防署の整備に要する経費を計上します。

309ページ、丸の1つ目、消防通信・指令業務運営費の一番下、千葉県防災行政無線再整備負担金は、県と市町村で整備した防災行政無線設備を再整備するための負担金です。

次の丸、車両購入費は、老朽化した西消防署の高規格救急自動車と積載資機材を更新するものです。

312ページ、款9教育費は、23.7%増の60億2,853万9,000円を計上します。

316ページ、項1教育総務費、目3教育研究指導費のうち、319ページになりますが、一番下の丸、小中学校ICT教育の推進の一番下、学校ICT化支援業務委託料では、令和6年10月から構築期間を含む6年間、正確には5年11か月間の第2次教育ICT業務委託のうち、児童・

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

生徒が利用するタブレット端末の調達を行います。

321 ページ、教育相談センターの2つ目の丸、会計年度任用職員人件費では、長期欠席・不登校児童・生徒の支援に向けた小学校の教育支援センター増設、指導員の増員を行い、中学校に教育支援センターコーディネーターを配置します。

326 ページ、項2 小学校費の目1 学校管理費の2つ目の丸、小学校運営費の中段、水泳指導委託料は、小学校の水泳学習を民間のスイミングスクールに委託するものです。

また、5行下の学校共通備品購入費では、老朽化している備品の更新を行います。

328 ページ、目3 学校施設管理費のうち、1つ目の丸、小学校施設維持管理費の施設維持改善工事費では第二小学校給食室の排気フード更新工事を、また次の丸、小学校施設整備事業の小学校施設整備工事費では湖北台西小学校や並木小学校の校舎の改修工事費を計上します。

332 ページ、項3 中学校費、目3 学校施設管理費の1つ目の丸、中学校施設維持管理費の施設維持改善工事費では我孫子中学校給食室の屋上防水や、布佐中学校屋内運動場の照明機器改修工事を、また、次の丸、中学校施設整備事業では久寺家中学校校舎の改修に向けた設計委託料を計上します。

336 ページ、項4 社会教育費、目2 公民館費、339 ページになりますが、一番上の丸、公民館維持管理費の一番下、湖北地区公民館防災設備改修工事費では、防災設備の改修工事費を計上します。

340 ページ、目4 文化費のうち、343 ページになりますが、一番下の丸、白樺文学館運営費、345 ページになります。白樺文学館照明工事費では、老朽化した照明設備の更新工事費を計上します。

また、347 ページ、1つ目の丸、文化財施設維持補修費では、旧ヤング手賀沼を文化財収蔵庫として利用するための工事費等を計上します。

350 ページ、目6 図書館費のうち、353 ページになりますが、一番下の丸、電子図書館サービス管理運営費では、電子図書館サービスの導入に向けた経費を計上します。

354 ページを御覧ください。

目8 博物館費のうち、357 ページになりますが、一番下の丸、施設維持管理費、359 ページに移りまして、中段、上から12行目と13行目の換気設備改修工事費と、屋上・外壁改修工事費は、鳥の博物館の老朽化に伴う更新工事費を計上します。

362 ページ、項5 保健体育費、目2 保健給食費のうち、367 ページになりますが、丸の1つ目、給食運営費の学校給食費負担軽減等補助金は、物価高騰等による給食食材費の上昇に対して、栄養バランスや量を保つための補助金を計上します。

また、次の学校給食費支援金は、保護者の経済的負担軽減を目的に、第3子以降の給食費を無償

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

化し、そのほかの児童の給食費を月額1,000円減額するほか、食物アレルギー等により弁当を持参している児童・生徒の保護者に補助金を交付するための経費を計上します。

また、次の丸、給食施設維持管理費のうち、一番下の給食備品購入費は、経年劣化している給食備品の更新費を計上します。

366ページを御覧ください。

目3体育施設費のうち、371ページになりますが、丸の3つ目、五本松運動広場整備事業では、サッカーやラグビーを中心としたグラウンドの整備に向けたアドバイザー業務の委託に要する経費を計上します。

一番下の丸、市民体育館改修事業では、市民体育館の老朽化に伴う給排水設備等の更新工事費などを計上します。

372ページ、款10公債費は4.6%減の30億1,563万1,000円を計上します。

款11予備費は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが引下げられたことを踏まえ、コロナ前と同額の1億円を計上します。

次に8ページにお戻りください。最初のほうのページになります。

第2表継続費について説明いたします。

道路維持補修費は、船戸跨線人道橋の改修について、令和6年度から9年度の4か年で総額7億1,024万9,000円の継続費を設定します。

また、消防施設等整備事業は、（仮称）湖北消防署の本体工事や電気工事工事監理業務委託について、令和6年度から7年度の2か年で、総額20億2,501万3,000円の継続費を設定しています。

次に、9ページを御覧ください。

第3表債務負担行為において設定した事項内容と限度額について説明いたします。

上から順に、議会ペーパーレスシステム使用は、ペーパーレスシステムの運用を開始するに当たり、令和6年度に契約を締結するため499万1,000円を、人事給与システム保守業務委託は、人事給与システムの運用を継続するに当たり令和6年度に契約を締結するため1,918万8,000円を、複合機賃貸借は、複合機を全庁一括で導入するに当たり、事業者と賃貸借契約を締結するため8,869万8,000円を、文書保存箱保管業務委託は、文書の保存や搬入、搬出業務を委託するに当たり、委託契約を締結するため4,009万円を、生成AIシステム使用は、令和6年度から生成AIシステムの運用を開始するに当たり、システム使用契約を締結するため220万円を、標準化関連システム導入・運用保守業務委託は、令和7年度末を目標時期として、住民記録や税業務を含む20の業務システムを国が策定する標準仕様に準拠したシステムに移行するため、18億9,656万円を、ちば電子調達システム使用は、現在使用しているちば電子調達システムの契約

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

期間満了に伴い、新しいシステムベンダーを選定するため2,871万1,000円を、市民税オンラインシステム使用（ASPサービス利用分）は、ASPサービス利用の契約期間が満了することから、使用契約を締結するため647万6,000円を、土地評価基礎資料作成等業務委託は、令和9年度、基準年度の固定資産税、土地評価替えに向け、土地評価基礎資料作成等の委託契約を締結するため1,901万4,000円を、我孫子行政サービスセンター窓口業務委託は、我孫子行政サービスセンター窓口業務について、事業者を選定するため1億5,858万円を、標準化選挙システム導入・運用保守業務委託及び使用は、選挙人名簿管理の標準準拠システム導入に向けた契約を締結するため6,742万5,000円を、ファミリーサポートセンター事業及び休日保育事業運営委託は、休日保育事業運営委託の契約満了に伴い、次の事業者を選定するため3,960万円を、標準化子ども・子育て支援システム導入運用保守及びデータ移行業務委託は、子ども・子育て支援に係る標準準拠システム導入に向けた契約を締結するため1億1,019万4,000円を、我孫子市学童保育室及びあびっ子クラブ運営管理業務委託（二小・新木小分）は、我孫子第二小学校、新木小学校の学童保育室と、あびっ子クラブの運営管理業務委託の契約満了に伴い、次の委託先事業者を選定するため2億9,868万5,000円を。

10ページに移りまして、生活保護レセプト管理システム標準化移行業務委託及び通信利用は、生活保護レセプト管理に係る標準準拠システム導入に向けた契約を締結するため2,520万1,000円を、生活保護システム標準化移行業務委託は、生活保護に係る標準準拠システム導入に向けた契約を締結するため3,484万8,000円を、空きびん引渡等業務委託は、空き瓶の選別や引渡しなどの業務を委託するため1億5,136万円を、場外資源等ストックヤード管理運営業務委託は、資源や不燃ごみ等の保管、積替え業務を委託するため6,909万5,000円を、スマートサイクル運営業務委託は、スマートサイクルの運営を開始するに当たり、委託契約を締結するため805万8,000円を、手賀沼公園駐車場機器賃貸借は、駐車場機器を更新するに当たり、賃貸借契約を締結するため1,914万8,000円を、標準学力調査業務委託は、標準学力調査の実施方式の見直しに向け、新たな事業者を選定するため881万8,000円を、第2次教育ICT業務委託は、第1次教育ICT業務委託の契約期間満了に伴い、新たな委託契約を締結するため27億7,982万1,000円を、五本松運動広場整備DB事業アドバイザー業務委託は、五本松運動広場のデザインビルド方式による整備に向け、アドバイザー業務委託契約を締結するため、1,272万7,000円を限度にそれぞれ設定いたします。

最後に、11ページを御覧ください。

第4表地方債について説明いたします。

主なものとして、2行目の市役所庁舎等整備事業が1億2,720万円、5行目のあらかき園改修事業が2億1,630万円、11行目の道路改良事業が1億3,800万円、15行目の排水施設改修事業が6億4,510万円、20行目の（仮称）湖北消防署整備事業が3億1,490万円、

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

26行目の小学校施設整備事業が4億5,830万円、29行目の鳥の博物館改修事業が1億330万円、31行目の市民体育館給排水設備等更新事業が1億4,600万円、最下段の臨時財政対策債が1億3,000万円など、合わせて32件、総額29億230万円の地方債限度額を設定します。

以上で一般会計歳出予算の説明を終わります。十分な御審議の上、御可決いただきますようお願いいたします。

○委員長（日暮俊一君） 大変お疲れさまでした。

以上で説明は終わりました。

これより歳出等に対する質疑を許しますが、質疑は款別に行います。また、市政に対する質問については各款別の審査に含めて御発言を許します。

これより歳出のうち総務費に対する質疑を許します。

○委員（芹澤正子君） 予算書123ページ、説明資料は17ページです。

財政調整基金積立金についてお尋ねします。

財政調整基金残高規模と標準財政規模との割合がどのぐらいが適正と、市は見ていますか。

今年度の令和6年度財政調整基金積立金は3億5,000万円で、令和6年度末の予定額は28億円あまりとなっています。また、前年度は5億8,400万円とありますが、市としての見解をお示してください。

○財政課主幹（加藤靖男君） 財調基金の残高、少なくともこれぐらいは確保しておきたいという額につきましては、標準財政規模の10%、令和5年度で言えば約26億円程度というふうに想定しております。

○委員（芹澤正子君） 今後、中期財政計画によると、何年後かでの見通しはどのようになっていますか。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午後2時49分休憩

午後2時49分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開します。

○財政課主幹（加藤靖男君） 昨年6月に策定いたしました中期財政計画では、令和6年度末で約28億円、令和7年度末で約22億円というふうに想定しております。

○委員（岩井康君） 予算書の119ページ、資料は23ページです。

款2項1目3企画総務部秘書広報課。事業名がシティプロモーションの推進事業であります。

事業の内容のところで書いてある中で、特に都心のオフィスで働く女性向けフリーペーパーとい

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

うふうになっているのと、それから市内西側と、それからもう一方で、東側ですね。これ新たにとなっているんですけども、このあたりについてもうちょっと説明をしていただければと思います。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） 都心のオフィスで働く女性向けフリーペーパーにつきましては、本年度もサンケイリビング新聞社が発行しております「シティリビング東京」という、女性向けのフリーペーパーに見開きの広告を掲載しております、それは昨年度、おとしも発行させていただきます。この事業の継続ということになります。

ここの中では、「住み替えあびこナビ」という移住PRリーフレットの中身をより多くの働く女性の皆さんに見ていただくために約15万部発行されておまして、オフィス数としては6,000の企業で配布されているペーパーに広告を出させていただいております。

この「住み替えあびこナビ」は、これまで西側の我孫子駅を中心に、その周辺に転入してきた方の声を紹介させていただいております。どうしても転入者の御希望も、この我孫子駅周辺が住み替えの第1希望の候補地となっておりますし、マンションなどもそこで販売される物件が多いので、その情報を中心に掲載させていただいておりますけれども、やはり成田線の沿線の魅力を発信するためには、同じような「住み替えあびこナビ」の全体の中の1ページではなくて、そこだけ少し抜き出した形で発行させていただいてアピールするほうが、より移住を選ぶ方にとっても、しかも限られたページ数ではありますけれども、東側のエリアの情報だけをピックアップしたほうがよりアピールできるというふうに考えまして、これ初めてこの「住み替えあびこナビ」のイースト版を発行させていただくという御提案でございます。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

それで、これまでも報告を受けていますけれども、特にこの女性向けフリーペーパーの反応といいますか、感度といいますか、このあたりについてはどんなふうに受け止めていらっしゃるでしょうか。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） フリーペーパーを配付いたしました後はアンケート調査もさせていただいているんですけども、改めてやはり御覧になった方は、我孫子の位置が皆さんがそれぞれ思っていたよりも、実際は通勤しやすい場所だという反応です。それと、緑が多いところとか、公園面積なんかも具体的に都心の4倍で、周辺の自治体よりも広いというのをもう数字で示させていただいておりますので、皆さんがこのイメージとして抱いてらっしゃる流山市とかのイメージと我孫子市のイメージは、実際の公園面積でいくと大分違うということも御理解いただけているのかなと思います。

そこから実際に転入という行動に移るまでには行っておりませんが、一度ぜひ遊びに行きたいというような反応はいただいております。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

それと東側のところで、住みやすさに特化したというふうにかかれておりますけれども、住みや

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

すさという点ではどういう点を強調するのでしょうか。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） 具体的にはまたこれからそれぞれの制作会社と相談いたしますけれども、埋没しないように作らなければいけないとっておきまして、初めての紹介のリーフレットになりますので、このエリアに住んでいる人をぜひ紹介したいと。

しかも、成田線の各駅を中心としたエリアで輝いている人、転入者の方の声を交えながら紹介していきたいというふうに思っています。それで、読んだ方が、ここにぜひ住みたいと思っただけのようなリーフレットになればいいなと思っています。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

さらに子育てしやすい市の魅力というふうに出ていますけれども、これについても再度お知らせください。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） 東側を選ばれるか西側を選ばれるかというのはそれぞれ皆様の御自由ではありますが、例えば最近リクルートスーモさんが発表した学校の様々なランキングなんか見ておきますと、我孫子市内の学校はこの東葛6市の中では1クラスの人数が少し少ないというか、子どもへの目が行き届きやすいような人数で教育されているとかというところが出ておりましたので、そういうところもアピールしたいと思えますし、各学校にあびっ子クラブがあって、これは実際に利用されているお母様方も、利用したいときに使えるので非常に便利だというお話もいただいておりますので、そのあたりも改めてアピールさせていただきたいと思っています。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

今回のシティープロモーションの事業は、東西という点でいきますと東のほうへのウエートが高くなるわけですか。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） 高くなるというのはちょっと違うかなと思っていますので、今まで東側にこちらのほうから特にスポットを当てた形で御紹介していませんので、まずは東側にはこういう、例えば我孫子駅とか天王台と違って分からない方に、成田線の各駅の布佐とか新木とかという名前を挙げて、もうさらにちんぷんかんぷんになるような部分がありますので、まずは我孫子の我孫子駅から成田のほうに向かって成田線が走っていて、そこには駅があって、その周辺にはまた魅力的な地域があるんだよというところを知っていただくという、その導入からまず入らなければいけないというふうに思っています。

○委員（甲斐俊光君） 私も、この東側のリーフレットには非常に期待いたしております。都内から、やはり東側にあえてちょっと田舎を目指してこられる方って、私も何人か知っているんですけど、そういう方に、ぜひともインタビューをして、魅力的なものを作っていただきたいと思うんですけど、まずその点についていかがでしょうか。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） 例えば、ポラスさんなんかも既に成田線の沿線なんかに
も分譲住宅の開発を進めていらっしゃいますので、そこら辺りも新しく来た方にも声を紹介したい
と思いますし、まずは何とんでも今までこちらの方面をリーフレットの形で移住情報としては発
信しておりませんでしたので、認めていただけるのであれば継続してこれもやっていく必要があり
まして、ちょっと1回、2回でこれだけ変わったってなかなか申し上げることはできませんけれど
も、今はネットで検索してもなかなかその情報も出ていないところがございますので、このあた
りをこのリーフレットと、それから動画のインタビューなんかも御協力いただいて、動画でも出し
ていきたいというふうに思っております。

○委員（甲斐俊光君） ありがとうございます。

あとやはり大手不動産ポータルサイトを利用したウェブ広告なんですけれども、これはどうい
った内容を考えていらっしゃいますか。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） これまで「住み替えあびこナビ」というリーフレットを
作らせていただいているんですけれども、これが1万部ほど作らせていただいて、先ほどお話しさ
せていただいた女性向けフリーペーパーの「シティリビング東京」これが約15万部出ております。
それぞれのオフィスで配布されていますので、実際にはもう少し多くの方が御覧いただいています
けれども、それでも、15、6万部、20万部程度なのかなというふうに思っています。

そこで、なかなか取りこぼしている部分はあると思いますし、もっと多くの方にこの「住み替え
あびこナビ」で発信しているような情報、例えば公園の面積が実際我孫子市は東京23区の4倍も
あるし、周辺の自治体に比べても広いんですよというところあたりをピックアップして、市のホー
ムページには出しているんですけれども、なかなか初めての方がいきなり我孫子のホームページ見
るっていうのは難しいと思いますので、今検討させていただいているのは、業界の最大手のリクル
ートスーモさんがやっている、そのスーモさんのサイトにアクセスした方のデータに基づいて、あ
とはネット広告もそうですけれども、東京圏、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県そして茨城県に
住んでいて、このリクルートスーモを活用して情報検索した人のデータに基づいて、広告を打つと
いうことになります。見た方を「住み替えあびこナビ」の情報に誘導するというような形になりま
す。

○委員（甲斐俊光君） ありがとうございます。

よく電車なんか乗ると、皆さん電車でスマホを見てずっとユーチューブ見たりだとか、皆さん検
索とかされているんですよ。あと皆さんも経験あると思うんですけど、検索をしますと、例えば
「小学生 塾」で検索すると、ずっとその後ホームページ右側にずっと小学校の塾がずっと並ぶよ
うなターゲット広告って今、やはりなんですよ。だからそういう、グーグルさんとかヤフーさん
とかもやっていますけれども。そういうターゲットで限定していてもものすごく効果あるんですよ。

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

女性で例えば、住宅を希望して引っ越しを検討されている方に、どんどん我孫子が横に出てくると、何かクリックしたくなって、見たくなるような、そんなちょっと限定したような広告も期待しているんですけども、その点についていかがでしょうか。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） 今お話しいただいたまさにこれがターゲット広告になっておりまして、その中でも特にリクルートスーモにアクセス録のある方ということで、移住とか新しい住み替える場所を探してらっしゃる方のデータに基づいて広告を発信するようになっておりますので、その点はやみくもに全体の方ではなくて、リクルートスーモさんのお話ですと、大体20代から30代で初めておうちを買われるような方がサイトを御覧になっているというふうに伺っていますので、その中でもなおかつ東京圏プラス茨城県にお住まいで、そこにアクセスをした方に対して広告を打つということになります。

○委員（甲斐俊光君） ありがとうございます。

あと内容ですけど、静止画とか動画とか、例えば15秒広告とか30秒広告とか、どんな感じで考えているんでしょう。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） 内容は「住み替えあびこナビ」で情報発信されている内容を基に、住み替えVOICEというインタビューも動画でさせていただいていますので、この両方とも見ていただけるような方向にしたいというふうに思っています。

○委員（江川克哉君） すみません、今までは市内西側地区を中心に紹介したリーフレットに加えて、新たに東側地区の住みやすさに特化したリーフレットを作成するということなんですけれども、そうすると、今までは西側のことが書いてあるものだけを作っていて、今後は西側のことと東側のことと、2冊作るという解釈でよろしいでしょうか。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） はい、そうなります。

○委員（江川克哉君） ありがとうございます。

そうしますと、西側に特化した今まではあるものは、15万部、6,000企業という先ほど御説明もありましたけれども、この東側の部分というのは、別の場所にそれを置くということなんですか、それとも同じ場所に2部置くということなんですか。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） 今置いていただいているのが、市外ですと郵便局とか御協力いただいたりして置かせていただいているんですけども、基本的には2部置かせていただくというふうに思っています。

○委員（江川克哉君） 分かりました。

別々、もしかしたら別のところにターゲットを、例えばの話なんですけど、西側は若い人なので、若い方がたくさんいるような場所とか、東側は恐らく若い人よりはもう少し、お子さんがもう少し小学生とかが多いのかなというふうに思って、配布する場所が違うかと思ったんですけど、そうじ

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

やないということですね。

○あびこの魅力発信室長（深田和彦君） 最近、新木とかの周辺にお住まいになっている方って、結構若い、小さなお子様のいる御家庭も多いと思うんです。そこを見越して、住宅会社も開発とかされていると思うんですけれども、基本的には我孫子周辺の方も、成田線の沿線の方も、ほぼほぼ同じターゲットであるというふうに見ています。ただ、今までは気づいていただけなかった部分を特化して出すことで、より気づきやすくなればというふうに考えております。

○委員（江川克哉君） 分かりました。ありがとうございます。

よろしく申し上げます。以上です。

○委員（坂巻宗男君） そうしましたら137ページです。

今回、ハザードマップの更新の予算が1,050万円で盛り込まれています。資料が29ページです。という形で、令和2年度に作ったものを刷新して全戸に配布をするということなんですが、この主な改正点と、その配布スケジュール、この辺からお聞かせください。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 我孫子ハザードマップの修正点なんですけれども、大きなところで、ただいま千葉県のほうで、令和3年から7年度にかけて崖地の基礎調査を行われております。その中で令和5年度に新たに土砂災害警戒区域が23件、3か所指定をされております。まずそういったところを現在のハザードマップに反映させていかなければならないというところがまず第1点。

あと、昨年9月20日、大雨により内水が、大分冠水している箇所が増えておりますので、その辺も、新たな内水の実績図ということで、現在のハザードマップにはない部分が増えておりますので、その辺も新たに付け加えたいと思っております。

あと、スケジュール的なものとしましては、6月に入札をする予定でいます。その後、今後、大体10月ぐらいに千葉県のほうから、令和5年度分の土砂災害の指定の公告がありますので、大体秋ぐらいに指定されると思われます。その指定がされましたら、ハザードマップのほうに早急に取り込むような形で、ハザードマップ自体の出来上がりが、年明けの1月か2月ぐらいになると思われまますので、でき次第、各自治会ごとに我々職員が出向いて、各戸配付していただくようにお伝えしたいと思っております。

○委員（坂巻宗男君） 丁寧に御説明いただきましてありがとうございます。

1つは、崖地を新たに盛り込むというところ、危険な場所を盛り込むということ。これは県との関連性ですから、ぜひ10月、できたら速やかに盛り込んでいただきたいと思えます。

もう一つがやはり内水の件で、今年度の、昨年9月の大雨を踏まえたものを掲載していくと。これ非常に重要だと思います。ぜひこれもお願いしたいと思うんですが。その上でこれはどうなんですか、その被害の実績というか実数というか、この地区は床上浸水をしたとか、床下があったとか

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

そういうことなのか、浸水の高さといいますか、深さといいますか、そういうふうな形での表し方なのか、その辺はどういうふうな形になるのでしょうか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 一応、床上があったとか床下があったとか、あと道路の冠水があったとかで色分けのほうさせていただいております。

窓口にも、一般の市民の方よりも不動産屋さんが結構場所を調査に来たりしていますので、やはり我々のほうも、その実績に伴ったような形で最新情報を提供しなければいけないので、今回、修正のほうをさせていただきたいと思います。

○委員（坂巻宗男君） 時間雨量100ミリ近い雨が降ったときに、現状はどういうふうになったのかということを表すということで、非常に重要だと思います。市のほうが既に調査書といいますか、報告書などを出していただいているところがあるわけですがけれども、実はそこにまだ入ってなくて、自治会などで情報を持っているとかいうところも実はあるんですね。

ですから、そういったところもぜひ、1月、2月に自治会に配るということですから、私はその前段として、改めて自治会などに、今、市としてはこういった被害状況を把握はしているけれども、抜け落ちていないだろうかというふうなことを確認しながら、次の改訂に盛り込んでいただくと、より詳細で、それから自治会の方々の意思疎通も取れたハザードマップの改訂になっていくと思うのでは、その辺を取り組んでいただきたいと思いますと思うんですが、いかがでしょうか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） ハザードマップのほうが出来上がった段階で、一応自治会さんとか、自主防災組織の方に、誰のところにそれを持っていけばいいかというちょっと通知をさせていただきますので、そのときにハザードマップが、印刷する前なんですけれども、ちょっと見せ方はどうやってやろうかというのもあるんですが、ホームページ上で見せるようにするのか、それはまだ検討中なんですけれども、もし希望があれば見れるような形にして、その辺の意見があるのであれば修正が間に合うか分からないですけれども、ちょっとその辺は考えていきたいなと思っています。

○委員（坂巻宗男君） これは本会議のほうでも御質問あったところだと思うんですが、これから入札ですよね。ですから、これから作成するという意味でよろしいわけですよね。

ですから、そういう意味では、今の段階で柔軟にこの情報を入手するというのは可能だと思いますから、むしろ固まった段階よりも、積極的に情報を開示しながら、あるいはコミュニケーションを取りながら、いいマップにさせていただきたいと思いますので、その辺もう一度、自治会のほうとの連携を取りながらぜひやっていただきたいと思います。もう一度御答弁ください。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） まだ時間がありますので、ちょっとその辺も我々のほうで検討してまいりたいと思います。

○委員（坂巻宗男君） ぜひお願いしたいと思います。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

やはり時間雨量100ミリの大雨というのが、かなりこれから頻度が高くなってくるんだろうなというふうな気もします。そういう中で、これは所管の環境都市のほうでも議論させてもらったところなんですけど、治水課のほうでも、来年度2,000万円からの予算を使って、半分国の補助ですけれども、内水の氾濫の状況を調べるというふうなことがあります。

これについては、来年度調査をかけてということなんで、ハザードマップとはどうもちょっと状況が合わないみたいではあるんですけども、あちらは想定し得る最大の降水量ということで、まだ確定はしていないんでしょうけれども、150ミリ程度の時間雨量を想定することもあるというふうな話なんですよね。確かにそういうことも想定していかなければならないような時代になってしまったんだろうなとは思いますが。

ですから、今回のハザードマップの改訂には、それはもちろん間に合わないと思うんですけども、ぜひそこは治水課のほうと情報はしっかりと共有しながら、今回のハザードマップの改訂は今年度の9月の雨の実績に基づいたものであって、さらに最大の降水量というものを考えたときには、こういったところを見れば、例えばホームページ等ですね、さらに分かりますよとか、いろんな告知の仕方もあると思うので、その辺も自治会などでお知らせいろいろやっていくときに、このハザードマップとまた違う情報が市から出ているぞみたいなことにならないように、担当のほうとしてもしっかりとその辺治水課と意見を合わせながら、情報の共有と発信をしていっていただきたいと思うんですが、この点はいかがでしょう。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 一応、治水課と情報の共有のほうはちょっとしておりまして、我々のほうも土砂災害の調査というのが令和7年まで続きますので、治水課のほうは令和6年度中に浸水の想定区域の図面をシミュレーションをやるということで、令和7年度はどうやって見せていこうかという話をされております。

そういった中で我々も一応令和8年度に、またハザードマップの改正をする予定で今考えてはいますので。というのはなぜかということ、令和7年度の千葉県の崖地の基礎調査が終わりまして、令和8年に指定がされますので、それが終われば我孫子市内の崖地の調査っていうのは全て網羅できるような形なんです。ですので、そのときのタイミングでハザードマップをもう一度改正して、その中にまた治水課のほうでシミュレーションで出した想定区域の図面を盛り込もうかなという考えではあります。

○委員（岩井康君） 関連で質問させていただきます。

今ハザードマップの件は、令和2年に作られたものを更新をするということになっていますけれども、これまで13年前の3・11の液状化のときには、いわゆる内地用の資料を基にして作ったわけですね。実際には布佐の地区は液状化はまるっきり出ていなかったんですね。

そういうことで、やはり県の調査というのがどういう形でやられているのか、本当にボーリング

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

も含めてやるような内容になっているのかどうか、そういったことも含めて実際今回でやるとなると5回目ですよ、ハザードマップね。だからそうなる、作ったけど、また作り直すというのではなくて、やはりしっかりとしたものをぜひお願いしたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 県の調査というのが、液状化とかの調査ではなくて、よくある崖地、皆さんとところどころ崖地を目にすると思うんですけれども、そちらの崖地の基礎調査というもので、高さ5メートル以上、角度で30度という基準があるんですけれども、それを千葉県が国土地理院の地図を基に東経線とかを確認しながら、我孫子市内で何か所そういった箇所があるかということで選定した中で、区域割りをして調査を今行っているところです。

それが令和7年まで、先ほどもお伝えしましたが、令和3年から令和7年まで続きますので、やはり既に指定されたところは、新しく変えていかなきゃいけないですし、また今後のところもありますので、やはりこのタイミングで一回改正させていただいて、あとは調査終わった後に全体また改正をさせていただくという形で、今回、修正のほうさせていただこうと思っています。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

実は13年前も、液状化は布佐地区だけじゃないんですよ。天王台にもありました。それから我孫子の近くもありましたし、規模の大小はありましたけれども、全域になっていました。

そういう点では、調査をするのであれば、これらも含めて調査をぜひお願いしたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） ちょっと今ハザードマップを確認したんですけれども、既に液状化の部分というのは、もうこちらに載せてありまして、土砂災害の関係がどんどん毎年増えていくような形なので、その部分を新しく付け加えさせていただくというのがまず第一の考えです。

○委員（岩井康君） 私もそのハザードマップは見ていますけれども、実際に起きたところは載っているんですけれども、心配なところがまだまだあるんだろうと。私なんか素人だからよく分かりませんが、そのあたりについての確認を、点検をする必要があるんだろうという意味です。

○市民安全課長（住安巖君） ありがとうございます。

今回、委員のほうから液状化のお話も今いただいたところなんですけど、今、副参事のほうから説明ありました今回土砂災害警戒区域の指定が県のほうで行われていると。その数が増えてくるので、それはいち早く市民の皆様にお知らせしなければならないので、ここの改正のタイミングで公示されたものを記して行って、市民の皆様にご案内していただいて、避難につなげていただくという形でやらせていただきます。

それが令和7年度まで続くという中で、そのタイミングでもハザードマップの修正は考えているんですが、先ほどの治水課の想定図とか、そういったところも含めて、内容についてはまた検討していかなきゃならない部分もあると思いますので、そういった中で考えていければというふうに

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

思います。

○委員（内田美恵子君） 予算書の145ページ、男女共同参画推進に係る予算についてお尋ねしたいと思います。

本年度の男女共同参画審議会の委員報酬の予算が前年度より3万3,000円増加しております。その理由をまずお聞かせください。

○男女共同参画室長（藤代健一君） 委員の数と審議会の人数は変わらないんですけれども、報酬という部分ですよね。委員の中では、例えば学校関係者だったり、社会福祉協議会の関係者がおりますので、そういう方が報酬の対象外となっております。今回増えたのは、その報酬の対象が増えたということで増額しております。

○委員（内田美恵子君） 報酬の対象者が増えたって今御答弁あったと思うんですが、どういう意味でしょうか。

○男女共同参画室長（藤代健一君） 失礼いたしました。

増額になったのは、今年度、半日3,500円なんですけれども、今回の議案が通れば、来年度から半日4,500円ということですので、こちら増額となっております。

○委員（内田美恵子君） 委員報酬が増額になったので、予算も増額になったという理解でよろしいですね。

○男女共同参画室長（藤代健一君） そのとおりです。

○委員（内田美恵子君） もう一点、男女共同参画推進事業自体の予算が、前年度より1万円減額となって、91万7,000円というふうになっているんですけれども、内訳を見ると講師報償費と消耗品費は変わっていないんですが、印刷製本費が1万円の減額となっています。

それで、2024年度にはプランの見直しがあると聞いておるんですが、プランの見直しをすれば、見直されたプランの印刷をして周知するというようなことも必要になってくるのかなと思うんですが、もともと少ない予算がさらに減額した理由をお聞かせください。

○男女共同参画室長（藤代健一君） まず、今年度の印刷費なんですけれども、74万7,000円ということなんですけど、この中には実際啓発の印刷製本ということで、印刷物の作成ということで50万円と、あと第3次プラン中間見直しを行うかどうかというところの時期でしたので、その分の中間見直しの印刷も含めて、印刷分が17万9,667円ということで、合わせて74万7,000円を計上しておりました。

ただ、今回いろいろ審議会、年間3回中2回終えたんですけれども、コロナ禍ということもあったので、令和5年をめどに冊子の中間見直しを考えていたんですけれども、なかなか事業が当初、第3次プランが始まったのが令和元年度ですので、なかなか思うように施策が実施できなくて、ようやく昨年度あたりから始まったということから、中間見直しはしないようになりました。中間の

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

見直しはせず、今の第3次プランで引き続き継続していくこととなっております。

そういう意味で、今回の印刷分が約18万円が計上されているんですけども、それは実際使わないような形になります。ですので、来年度の73万7,000円なんですけれども、実際1万円減ったようには見えるんですけども、さらに啓発物や男女共同参画の事業を啓発するものを作成するというので、1万円は減っているんですが、事業としてはより大きく出すように考えて予算計上しております。

○委員（内田美恵子君） 説明が長かったのでよく理解できないんですが、要は2024年はプランの見直しはない。それで、予算も1万円減額はしているものの、推進事業そのものは後退というようなことではないということでしょうか。

○男女共同参画室長（藤代健一君） おっしゃるとおりです。

○委員（内田美恵子君） それからもう一点、会計年度任用職員、パートタイム職員さんの人件費ですけども、前年度より52万円増加していますが、この理由は、パートタイムの職員さんにも報酬を出そうというような、制度的な見直しの中で増加したというふうな考えでよろしいのでしょうか。

○男女共同参画室長（藤代健一君） 委員のおっしゃるとおり、期末手当と勤勉手当が入りますので、増額となっております。

○委員（内田美恵子君） この会計年度職員さんというのは、男女共同参画の推進員という方というふうに理解してよろしいのでしょうか。

○男女共同参画室長（藤代健一君） 男女共同参画条例の中で、男女共同参画推進員、会計年度任用職員を置くというのが定められておりますので、会計年度任用職員を置いております。

○委員（内田美恵子君） それで、現状、この会計年度職員さんの負担が大変大きいのではないかなというふうに思っているんですが、それは、現在の参画室の体制が男女共同参画室というふうに名前はなっておりますけれども、室長も、それからもう一人の正職の方も兼務なんですよね。その辺確認させてください。

○男女共同参画室長（藤代健一君） 私が広報室長と男女共同参画室長まず兼ねております。職員のもう1名も広報係長と男女共同参画の係長を兼ねておりまして、実質単独で事業を行っているのが会計年度任用職員の1名となっております。

○委員（内田美恵子君） 御答弁のあったように、現状の体制は、正職は1名もないということなんですよね。本当にこれ、男女共同参画室という名前はついていますが、私は本当に体制としては、不十分だろうなということを思っております。ですから、この男女共同参画推進員、パートタイムの職員さんへの負担、それから正職の方も兼務ということで大変負担が大きかったのではないかなと思うんですが、その辺いかがでしょうか。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○男女共同参画室長（藤代健一君） 委員のおっしゃるとおり、確かに負担は多いと思います。

ただ私も兼務という中で行ってきましたけれども、令和3年度から広報室長男女共同参画の室長を兼ねておりますが、啓発に関しては手を抜くことなく、広報室と一体となりながら、毎月、我孫子市で定める男女共同参画月間では、「広報あびこ」6月1日号の1面で特集をしたり、今年度でも6月に女性会議の皆様と一緒に共催事業を、講演会なども実施しております。

また令和4年度では、国立女性教育会館という、NWEC（ヌエック）という団体があるんですけども、その中でも自治体の男女共同参画推進リーダー研修ということで、我孫子市の取組がよいということで、オンラインで参加者530人の講習があったんですけども、私もその中で講師として我孫子市の取組をPRしてきました。

そういう意味では、確かに負担になるところはあったと思いますが、これまでも手を抜かずにやってきたということは実感しております。

○委員（内田美恵子君） 人員体制が本当に弱小だったというふうな中で、皆さんが本当に一生懸命やってくださって、決して手を抜いた対応ではなかったということは思っております。

それができたのも、今回は男女共同参画についての広報を重点的に行おうということで、参画室を広報室の中に置いたということがあると思うんですね。それで、広報部門が大変この数年、充実したというふうに思っています。

ただ、今後、今議会で議案として提案されておりますが、男女共同参画に関する事務を企画総務部から市民生活部に移管するという議案が出されているんですけども、この議案が可決され、移管された場合は、人員体制はどのようにお考えになっているのか、お聞かせください。

○男女共同参画室長（藤代健一君） 私どもとしてもそのような話の際に、担当職員として、やはり室長という立場の者は1人正職員、管理職をつけていただきたいということと、あとやはり実務ですね、会計年度任用職員だけではなくて正職員をやはり専任でつけていただく、計3人体制が一番望ましいという話はさせていただきました。

○委員（内田美恵子君） 担当者として、次に申し送りじゃないでしょうけれども、そのようなことを発言して下さったというのは本当に、ありがたいと思うんですけども。

この先見直しはなくなったということですが、現在、県のほうでも条例が制定され、それぞれの自治体においても男女共同参画推進ということで、具体的にパートナーシップ条例を検討しようだとか、いろいろな検討が行われております。そういう業務も大変多くなると思うんですね。

それで、以前、市民活動支援課の中に参画室が設置されていたときには、専任の室長が、たしか部長級の参事だったと思うんですが1人じゃないんですか。

（「課長級です」と呼ぶ者あり）

○委員（内田美恵子君） ごめんなさい、それは後で確認します。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

室長がお一人、それから専任の職員がお一人、それに加えて先ほどの男女共同参画推進員が、その当時は嘱託職員という形で配置されていたとされているんですが、その辺、間違いありませんでしょうか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 内田委員おっしゃるとおり、以前そのような体制の時期もありました。

○副市長（青木章君） 今、室長が部長待遇だというお話でしたけれども、私がちょうど課長をやったときだったんですが、課長待遇だったと思います。部長待遇ではなかったと思います。室長がですね。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午後 3 時 3 3 分休憩

午後 3 時 3 3 分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開します。

○副市長（青木章君） もう一度答弁させていただきます。

先ほど室長が部長待遇ではなかったかという御質問でしたけれども、たしか課長待遇のときもありましたし、次長待遇のときもあったというふうに記憶しております。

○委員（内田美恵子君） 今御答弁のあったように、正職が2名、それから、その当時の嘱託職員さんが1名、体制が大変しっかりされていました。

それに比べて現体制は、条例制定とか、そういうのが終わったということもあったと思うんですけども、大変、職員さんに結構負担がかかったのかなど。その中で一生懸命やっていただいたということは感謝しておりますが、今後はやはりいろいろ課題となっていることがありますので、体制整備は私は不可欠だと思っております。

それで先日、私たち千葉県第4ブロックの議員研修があったんですけども、そのとき内閣官房参与の山崎史郎さんという方から、「人口減少社会を考える」というテーマで講演がありました。

その中で、この日本の出生率の低下は、子ども1人の家庭が増えているためであり、その理由は共働き、共育、共に育てるというモデルが現時点で確立されていないために、若い世代が子どもを2人持つことにちゅうちょしているというようなお話がありました。

やはりその背景には日本の社会のまだ硬直的な社会規範、いわゆる男性は仕事、女性は家庭という性別役割分担の考え方が社会の中にまだ依然として残っていて、育児は母親任せで、父親の育児参加が期待できないことが背景にある。そして、女性が仕事と子育てを両立することが大変だということで、2人以上持つことにちゅうちょしているというお話がありました。

日本の今最大の課題は人口減少だと言われておりますが、そういう面から考えても、また、経済

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

の面から考えても、まさにこれから男女共同参画を推進していかないと、あらゆる分野で日本は後れを取っていくのではないかとということで、国のほうでも一生懸命、最近、様々な施策の背景に男女共同参画を推進しようと。

経済界も、今そういうふうに言っている中で、我孫子市としても現場ですから、ぜひこれから推進していただきたいと思います。これまで以上に推進していただきたいと思うんですが、この移管に当たって、移管するかどうかはまだ決定されていませんが、移管するとすれば、どのような体制を組んでいただけるか、その辺を、これ所管がまたがっちゃっていますので、ぜひ副市長、御答弁をお願いいたします。

○副市長（青木章君） まさに人事異動と直接関わる問題なものですから、この議会で、まず移管をお認めいただいた上で、その体制について検討していきたいというふうに思っています。

今御指摘ありましたように、今の体制は兼務、兼務で、兼務と会計年度職員という形ですけど、これが少しでも体制を充実できるような方向で、市長も考えていただいていますので、認めていただいた上の人事異動の協議の中でしっかりと詰めていきたいというふうに思います。今現状で、まだお話しできる状況にはございません。

○委員（内田美恵子君） 議案が可決するかどうか、今分からない状況で無理無理聞いているんですけども、やはり今お話ししたように、我孫子市にとっても、いろいろな施策をする、うまくこれからまちを回していくために、根底になっている一つの要素だと考えておりますので、ぜひ体制の強化を図っていただく方向性を持っていただきたい。それだけは、御答弁いただきたいと思いません。

○副市長（青木章君） 人事の話になりますと、今、なかなか職員が採用しても応募者がなかったり、特に辞退者が多く出たりと、大変、今、人事サイドとしては厳しい状況にあるということの中でも、この問題につきましては体制が強化できるような形をしっかりと考えていきたいなというふうに思います。

○委員長（日暮俊一君） 内田委員、そろそろまとめてください、質問を原点に戻ってまとめてください。

○委員（内田美恵子君） ありがとうございます。

じゃ、検討していただけるということで期待しておりますので、よろしく願いいたします。

○委員（芹澤正子君） 千葉県は、全国でただ一つ男女共同参画条例がない県でした。それで今の知事になってから、今年度になって、あらゆる違いを認め合う、男女だけじゃなくて、国民性、年齢、そんなことも全部、多様性を尊重してというふうになりました。

私の政党も女性局から、今、ダイバーシティ推進局長という名前に変わっています。男女だけの時代はもう終わって、あらゆる違いを認め合う社会にこれからいくべきです。どなたか回答をお願い

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

いします。

○男女共同参画室長（藤代健一君） 千葉県も今年の1月からパートナーシップ、多様性の条例ができました。我孫子市としては、我孫子市男女共同参画条例というものを平成18年に施行しているんですけども、その中の基本的な考え方としましては、男女共同参画というふうに始まるんですけども、その1項では、「すべての人の人権が尊重され」というふうに始まっております。

そういう意味ではもちろん男女共同参画の条例なんですけれども、全ての人権の条例だと思っております。

○委員（江川克哉君） 予算書137ページの6行目、予算説明資料ですと、28ページの下段、防災行政無線施設維持管理費322万1,000円についてお尋ねいたします。

まず中峠下根古屋地区に設置されていたものを令和4年度に一時撤去したということなんですけれども、令和4年度のいつになりますでしょうか。分かりましたら。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 令和5年度の2月ですね。

○委員（江川克哉君） 令和5年の2月ということですね。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 令和5年2月なんで令和4年度ですね。令和4年度なので、令和5年2月に撤去をさせていただいています。

○委員（江川克哉君） そうしますと、撤去してこれからまたつけるわけですけども、令和6年4月以降になるので、その間はその子局がないということによろしいのでしょうか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 委員の言ったとおりになります。

○委員（江川克哉君） 空白期間というか、そういったことがあった理由というのはどういったことになるのでしょうか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） まずこの地域で公共用地というものが、ちょっと探したところなかったんですね。まず移設する先を選定しなければいけないわけで、たまたま公共用地ではないんですが、借地になっている根古屋団地の市営住宅の要は敷地内に建てられないかどうかというのを、我々はちょっと検討させていただきました。検討はして、土地の所有者の方との交渉とかもありまして、あと根古屋団地の自治会さんにも説明をして、設置が可能かどうかというものも1年間検討してまいりまして、いよいよ土地の所有者の方からも承諾が得られましたので、令和6年度に設置するという形になっております。

またこれ県のほうの補助金の対象にもなりますので、タイミング的にはこのタイミングでつけさせていただければなと思いました。

○委員（江川克哉君） 分かりました。

そうしますと、1年以上その間なかったわけですけども、市民の方から、なくて困っているというようなお話はありましたでしょうか。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 一応、自主防災組織の役員さんとかには、こちらの地区の防災無線を撤去しますというお話をさせていただいて、周りの方たちにその辺の御説明をお願いしますという形でお話はさせていただいたんですけども、特に直接市民の方から、無線がないから不便だとか、そういった御意見等はいただいております。

○委員（江川克哉君） そうですか、分かりました。

そういった御意見がなかったということでしたら何よりなんですけれども、もしかしたらないということに気がついていない、聞こえてなければいけないことが分からないのかなというふうに思ったんですけど、その点はいかがでしょう。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 一応近隣には、みどり台の自治会館のところにも防災無線がついておりまして、我々も設置する場所を選定するために、現地でどのくらい聞こえるかというのは自分の耳で確かめて、ある程度は聞こえるのは聞こえるんですね。みどり台もありますし、あと大和団地のほうの公園の中にも建っていますので、ある程度は網羅できているのかなというところで、なかなか早急には、土地所有者との交渉とかもありましたので、設置のほうは令和6年になってしまったということになります。

○委員（江川克哉君） 分かりました。安心しました。

何とぞよろしく申し上げます。以上です。

○委員（岩井康君） 今の答弁の中に入ってなかったの。撤去した理由、それをお聞かせください。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） まず設置されていた場所なんですけれども、こちらは公共用地ではなくて借地で借りておりました。ちょっと言える範囲がどこまでかということもあるんですけども、そちらの土地が所有者の方の都合により撤去してほしいということで、撤去せざるを得なくなった状況でございます。

○委員（芹澤正子君） 千葉県は防災県とうたっています。聞きづらい防災行政無線を更新するとありましたけれども、我孫子市内で今、防災行政無線は全部で何台ありますか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 1か所今撤去していますので、78基になります。

また新たに移設しますので、令和6年にはトータル79基になります。

○委員（芹澤正子君） ありがとうございます。

それと、これ県の補助金が半額出ているのが分かったんですけど、極端に言うと全部聞きづらいと言えなくはないんです。我孫子市でやっている、あの大きさと、あの範囲でやっている、あっちもこっちも聞きづらいという声が届いているわけですから、新しくつけるのはもっと性能のいいものに付け替えることができるんですか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 一応スピーカーの大きさとか長さとか、いろいろ可聴範囲と

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

というのがコンピューター上で我々設置で見れるんですけども、それによって聞き方が多少変えられたりとか、空白地帯に届くような形で、ある程度調整することは可能です。

○委員（芹澤正子君） もう一つ今伺ったのは、補助金は半額、何台でも我孫子がもし、調べてみたら78台中50台が聞きづらいついて言ったら、50台の申請をすれば50台分の半分の補助金がもらえますか。

○市民安全課長（住安巖君） 今、何台もというお話なんですけれども、この県の補助金なんです、千葉県の防災力の向上の補助金で、やる内容が県の補助内容に合ったもので認められれば、その事業の金額の2分の1を補助してもらえるというものなので、やる工事の内容とか事業の内容にもよると思います。ただ、一遍にというのは、ちょっとなかなか考えづらいので、今回は一時撤去しているものを移設する。そこで、補助金を使わせてもらえるとということで申請を出して、使わせてもらうという状況です。

○委員（芹澤正子君） 1台当たり、半分でも160万円というのはとても大きいのは分かりますが、今まで聞こえない聞こえないというのが随分届いているんですが、ハザードマップ幾ら作っても聞こえない、ほかの方法があるという、ほかの方法が取れない人のためにも、この防災行政無線の性能をよくしたら届くというふうには考えられませんかでしょうか。

○市民安全課長（住安巖君） 無線の機器の性能等は、新しいものも出ているとは思いますが、基本的に無線は音ですので、先ほどちょっと副参事のほうからもありましたけれども、可聴範囲というものがございまして、逆に音がぶつかってしまって聞き取れなくなったりとか、そういうのを防ぐためにちょっと範囲を調整して、あと方向とか設置場所もちろんなんですけど、あと電波状況等もあるんですが、そういったところを検討しながら設置をさせていただいております。

どうしてもなかなか市内全域、これは以前からお伝えしているんですが、無線放送は天候によっても聞こえないことが十分に考えられます。そのためにメールですとかLINEですとか、ほかの方法で迅速にお伝えできるようにしておりますので、そういったところを使っただけのように、今後も市民の皆様にお伝えしていきたいというふうに考えております。

○委員（芹澤正子君） それでは単なる要望に取り替えますけれども、できるだけ聞こえないで死んじゃう人をなくしてください。以上です。要望です。

○委員（岩井康君） それでは、予算書が137ページ、資料は29ページ。

款2項1目12市民生活部市民安全課の、事業は災害非常用対策事業（うち地域防災計画及び業務継続計画修正業務分）として、544万5,000円となっておりますが、説明のところでも地域防災計画及び業務継続計画修正業務委託料となっております。このことについていまいし詳しくお願いをいたします。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） まず地域防災計画のほうなんですけど、こちらは令和4年9月

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

に、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域に我孫子市が指定されました。そのこと
によって、対策の推進計画を地域防災計画のほうに盛り込む必要があります。そういったことで、
今回の修正の大きな部分になっております。

あと、地域防災計画の見直しの項目としましては、先ほどもハザードマップの関係でお話ししま
したけれども、避難対策の強化という部門では、新たな土砂災害区域の指定に基づいて緊急避難場
所の変更、また災害の種別ごとに開設する避難所の整理とか、あと避難所の運営の改善、そういっ
たものを盛り込む予定です。

さらに、市内の体制の強化とか応急復旧対策の充実、この辺は、安否不明者の氏名等公表による
救助活動の強化というものがあまして、千葉県のほうで、一般質問にもありましたけれども、安
否不明者の氏名の公表ができるようになりましたので、その辺をこの計画のほうに盛り込みたいと
思っております。

さらに前回の地域防災計画から修正する箇所としましては、利根川の危険水位の基準水位という
ものが国のほうで変更されておりますので、まずその修正と、あと福祉避難所運営の訓練に基づい
て、防災訓練の在り方の見直しなども盛り込んでいきたいと思っております。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

それで、委託料というふうになっていますので、この委託先の選定方法はどのような形にするん
ですか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） こちら入札になります。

○委員（岩井康君） いつやられますか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 4月の入札になります。

○委員（岩井康君） 4月の入札で、実際には市の所管のほうはどのような形にかむことになりま
すか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） スケジュールという形でよろしいでしょうか。

○委員（岩井康君） スケジュールでなくて、どのような形で実際に、例えば共同開発といいますか
共同研究をすとかいろいろ、全て投げるんじゃないで、そこら辺はどうなんでしょうか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） もちろん原課、我々のほうで自治会さんとか、自主防災組織
のほうに防災に関するアンケートとか調査しまして、その返ってきた内容を、またこの地域防災計
画のほうに盛り込めるかどうかというのも判断させていただいて、あと以前、従前の計画の中身の
文言とか、新たな修正箇所とかも我々のほうで修正をその業者のほうに伝えるという形になって
おります。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

そうしますと、丸投げではないんですね。所管のほうでも一定の積み重ねもして、その上で要望

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

を出していくというふうになりますかね。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 当然丸投げではなくて、我々のほうで全て指示を出して計画をつくっていくという形になります。

また年2回なんですけど、市民危機管理対策会議というものがありますので、そこで委員さんの意見の聴取もしまして、その中でまたその計画の中に盛り込んでいくような形になると思います。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午後3時57分休憩

午後4時10分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開いたします。

○委員（岩井康君） 予算書の137ページ、資料30ページ、款2項1目12、市民生活部市民安全課、事業名が災害非常用対策事業（うち湖北地区防災備蓄倉庫設計監理委託分）となっています。456万3,000円ですが、ここでコメント書いてあるのが、令和6年度は建築設計を行うというふうに書いてあるんですが、これについて具体的な着工はいつになるのでしょうか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 着工は、令和7年度の予定でいます。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

それで、1年置いておくという意味はどういう意味なんですか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 1年かけて設計をするような形になります。

○委員（岩井康君） 1年かけて設計というのは、どういう設計するんですか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 失礼しました。9月、設計が完成する予定です。改めます。すみません。

○委員（岩井康君） 実際に令和6年度は何月から設計が始まるんですか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 4月に設計の入札を行いまして、5月に契約をします。9月に設計が完成する予定です。

○委員（岩井康君） それで着工が令和7年というんですけど、7年のいつ頃になるのでしょうか。

○市民生活部副参事（寺田秀樹君） 令和7年4月の建築の入札をする予定です。

○委員（坂巻宗男君） 141ページです。市民協働推進課の予算で、関連はしないんですけどもちょっと続けて2つの点について質問しようと思います。

1つは、我孫子南近隣センターの管理の負担金ですけども、これが5,164万4,000円になっているんですが、令和5年度と比較すると、令和5年度が3,500万円なので、1,600万円強、負担金が増えているという状態なんですね。ちょっと負担金の額としての増加額が多いなというふうな点で気になるんですが、これは具体的にどういったことで増額になっているんでしょ

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

うか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） まず増額なんですけれども、1つは施設設備の保守関係が、3年の長期継続の契約になっていまして、今回4年ぶりなのかな、その人件費がまず上がっているという点が1つ。

もう一つが、修繕のほうはかなりかかっておりまして、交換時期が来ているその機械式駐車場の部品であるとか、あとエレベーターの部品、それぞれ1,000万円と600万円ぐらいがまずかかるだろうと。それに加えて空調設備の修繕でおおむね約900万円ぐらいかかっているというところが大きく上がった理由でございます。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

いわゆる保守等の人件費増などで上がるとすると、せいぜい1割から2割ぐらいだろうなというふうに思っていたんで、ちょっとこれだと上がり過ぎだなというところで、いわゆる修繕のほうも入っているということなのでちょっと安心はしたんですが、とはいえ、今回もあそこの駐車場などの修繕が入ることなんですけど、たしか今年度だったと思うんですけれども、あそこ機械式のやつが故障をして、数か月間機械式のが使えないような状況もあったかと思うんですね。

ですから、ちょっとそういう意味ではちょっと壊れやすくなっているということもあろうかと思うんですけれども、できるだけそういう意味では、速やかに市のほうとしても、県に、こういった保守、点検などを進めながら、市民の皆さんの利用にそごがないようにしていただきたいなと思うんですが、その点いかがでしょうか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 令和6年度ですか、機械式駐車場の修繕関係で見送ったものもあります。それも約2,500万円だとか、それぐらいかかるものなんですけれども。ただ、やはり利用者には一番迷惑をかけるというのはよくないと思っていますので、県のほうには対応をしっかりとしていくように、市からも言っていきたいと思います。

○委員（坂巻宗男君） ぜひお願いしたいと思います。

なかなか市の施設だと、ここまで長期間、例えば駐車場が使えないなんてないだろうなとか思ったりすることがあるんですね。どうしてもやはり市だと、本当に市民の皆さんと直結しているので、市民サービスを停滞させないということに対して、非常に意識が高く職員の皆さんも対応していただんですけど、それが県になってしまうと、やっぱりちょっと離れているというふうな、あるいは規模が大きいから情報が届きにくいということなのかもしれないんですが、その辺で、それを改善していくのはやっぱり市の担当課の力も大きいと思いますので、ぜひ今回ちょっと予算増額していますけれども、市民の皆さんの利用がよくなるようお願いしたいと思います。これは要望です。

同じ予算書で、141ページ自治会等の自動体外式除細動器、いわゆるAEDについての補助金

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

があります。これも続けてまいります。

これは、各町内会などが24時間、屋外で設置をするAEDに対して補助をしようということで、令和5年度から始まった事業です。私などの自治会もこれ使わせていただいて、大変安心感が高まってこれ非常にいい制度だと思っています。

これをやっぱりより多くの自治会の皆さんに普及させていくことが非常に重要だと思うんですが、我孫子の市民のまさに命を守っていくという意味で。ところが今回、例えば、令和5年度と比較すると、当初74万円予算つけていたところが、今回49万円ということなので、実績を踏まえて少し減額をしているのかなというふうには思うんですけども、来年度などは、幾つの自治会に対しての補助を見込み、あるいは目標にしているのか、その辺はいかがなんでしょうか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 令和6年度については、まず購入で1件、25万円を考慮しておりまして、あとリースを4件で、6万円の4件で24万円で積算しております。

○委員（坂巻宗男君） 今回の施政方針でもありますけれども、この令和5年度は2件の1件がたしか聞いたところは購入、1件がリースというところで2件だったと思うんですが、むしろ今回、予算は減っているけれども、さらに増やしていこうというふうなことかなというふうに思いました。

増やしていくに当たって私大切だなと思うのは、今回、令和5年度で2件、2つの自治会がこの設置を、この補助金使わせてもらっているという実例があるので、そういったものを自治会の方に紹介をすると、恐らく今まで意識を持っていなかったところとか、あるいはちゅうちょしていたところが、あるいはやろうと思っていたんだけど、ちょっとやっぱりリースできないぞとか思っていた自治会もあると思うんです。

だから、そういったところが実は、いやこういうケースがあるからできるんですよというのが分かると、さらに進んでいくんじゃないかなと思うので、その辺ぜひ実例などを紹介しながら、自治会に広報していただきたいと思いますと思うんですが、この点いかがでしょうか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） これから4月以降自治会活動助成金の申請時期になりまして、会長を含めた役員の皆さん、窓口に来ることになりますので、その際に直接、AEDのこの補助については周知、PRしていきたいと思います。また時期を見てこれ、ちょっと消防と連携することになると思うんですけども、広報などでも改めて周知できればなと思っています。

○委員（坂巻宗男君） いわゆる、コンビニに設置されているAEDなどは消防が所管して、全てのコンビニエンスストアで24時間使えるようになっているというのがまず前提としてある。

それから公共施設には当然入っている。ただ、公共施設の場合は、今のところ基本的には公共施設が開いている時間帯だけになってしまうので、やはり夜間も含めたこういったAEDの設置は市内各所に必要なだろうと。

私などが聞いた限りでは、町会で、最初はもちろんリースで行こうと思ったんですね、保守点検

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

も含めて。ところが、基本的には自治会は任意団体などで、法人格ではないので、リース契約が難しいという話があって、それで白山湖畔町会などでは購入に切り替えて、保守点検パックみたいのをつけて稼働させているというふうな形になる。一方では、リースもできる事例もあるというふうなことでした。

ですから、その辺、ぜひ情報を共有していただきたいと思うのと、私はこれまだ1年目の次、2年目、3年目とかだから、その辺をやりながら、もしこれで、仮に増えなければというふうに私は思っていたのが、私2つとも購入だと思っていたもんですから、リースのしやすさという意味でいうと、実は、むしろ市がリースの主体になってしまって、自治会が市と契約を結んで市に対して負担金を払うみたいなの、そういう方式はどうなんだろうかというふうなことがあると、自治会の契約の煩わしさみたいなものが抜けて、うまく広がっていくのかなんていうことも考えていたりしたんですけれども、今お話聞くと、そのリースの方式もできる事業者もあるような話ですから、そういったところもぜひいろいろ周知していただいて、本当にAEDが市内各地でいざというときに使えるように対応していただきたいと思います。

もう一度、最後御答弁お願いします。

○市民協働推進課長（小池博幸君） やはり市内に多くのAEDを設置して行って、まず市民の安全を守っていくと、命を守っていくということがこの制度の一つの目的ですから、そのためにしっかりと、いろんな手法があるということも自治会のほうに周知していきたいと考えております。

○委員（内田美恵子君） 説明資料の31ページ、近隣センター等維持管理費についてお尋ねします。

根戸と天王台、布佐南の防災設備更新工事が予定されておりますが、どんな防災設備の更新工事をするのか、お聞かせください。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 防災設備の更新なんですけれども、誘導灯設備のLED化であるとか、あと非常用放送の設備の更新であるとか、関連スピーカー、あとは煙感知器だとか、そういう防災関係の設備を更新する工事になっております。

○委員（内田美恵子君） 工事の日程を教えてください。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 工事のほうなんですけれども、6月に入札を行いまして、その後7月から12月までにかけて順次工事を行っていく予定です。

○委員（内田美恵子君） 全館、今、7月から12月までの日程というのはまだ出ていないんですか。それぞれ同時にやるということですか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 入札になりますので、入札の結果、契約する事業者と改めてスケジュールのほうを調整することになります。

○委員（内田美恵子君） 入札というのは、個別にそれぞれの近隣センターで入札をかけるという

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ことですか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） それぞれの近隣センターごとに入札を行います。

○委員（内田美恵子君） 分かりました。

それで、今ハード面のことをちょっとお尋ねしたんですが、近隣センターのソフト面のことについてお尋ねしたいんですが。以前からちょっと質問しているんですが、今、根戸近隣センターはどうなっているかということなんですが、以前、管理運営するまちづくり協議会の役員さんが全員辞任されて、取りあえず市の課長が会長を務めていたという状況がありましたが、現在の状況をお聞かせください。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 現在も市民協働推進課長が根戸まちづくり協議会の会長を務めております。

○委員（内田美恵子君） 決してそれは望ましい状況ではないと思いますが、市としてはどのような努力をされて、まちづくり協議会自体が健全な状態になるようにしようとお考えになっているのか、どんな努力をしているかお聞かせください。

○市民協働推進課長（小池博幸君） まず令和3年度には、根戸地区内の自治会であるだとか、あと老人クラブの方との意見交換であるだとか、あとは利用団体、根戸近隣センターを利用する団体へヒアリング等も行いました。

令和4年度からは、根戸近隣センターを利用している団体であるだとか、根戸地区在住の方からアイデア、企画提案を受けて一緒になって事業展開していくということで、根戸地区在住の方の間で子どもみこしを展示したり、近隣センターを利用している書道サークルと一緒に書道展などを開催しました。

今年度については、2月に根戸地区の自治会と民生児童委員の方と一緒に防災訓練を行ったり、さらに根戸在住の方と一緒に子ども居場所づくり的なものも取り組み始めているところでございます。

○委員（内田美恵子君） 地域の方といろいろ事業を協働して行っているということはよく分かるんですが、それが今後のまちづくり協議会の役員になっていただくとか、そういうことにつながるような状況になっているのかなのか。

今、まちづくり協議会は、形の上では存続しているという考えでよろしいんですね。

○市民協働推進課長（小池博幸君） まずまちづくり協議会のほうについては存続しております。

そういう企画提案だとか一緒になって事業をしていただいている方々については、今時点ではすぐに役員というのは非常に難しいかなと思っております。ただ、そういう根戸近隣センターをよくしたいとか、根戸地域をよくしたいという少し芽が出てきておりますので、そこをしっかりと育てていって、再構築できればと考えております。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○委員（内田美恵子君） すぐには、健全なといえますか、普通のまちづくり協議会の形にはつながらないというような御答弁もありましたが、最近、総会とかそういうことはどうやっていらっしゃるんですか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 書面で開催しております。

○委員（内田美恵子君） 書面で開催ということですが、役員さんは全部いらっしゃらないわけですね。会長さんだけが市の課長様、小池課長がなさっているということなんですが、そうすると、まち協の監査とか、そういうこともなされていないという状況なんですか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 根戸地区在住の方が監査をしているということは、今はありません。ただ、決算についてはしっかりと、先ほど言ったとおり総会資料の中で出ておりますので、そこで各自治会については確認をさせていただいております。

○委員（内田美恵子君） そうしますと、もう全く今まちづくり協議会のていはなしてなくて、市の職員さんがいろいろなところを代わってやっていらっしゃるということだと思います。

それで、前から言っているように、近隣センターをつくったそもそもの経緯というのは、平成元年に地域活性化ビジョンというのがつくられて、その地域課題をみんなで解決していきましょう、そのためには、まち協の運営に関しても、管理に関しても、住民の方が担っていかうということで一生懸命皆さんやってきた経緯がありますけれども、どこの近隣センターにおいても、最近高齢化で担い手が大変だというのは確かに現状としてはあると思うんですけども、ほかのところは何とか大変な中でも、今、役員さんもそろって運営していると思うんですけども、今後、この数年は今のような状況が続くというような認識でいらっしゃるのかどうか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） できる限り早く、根戸まちづくり協議会をしっかりと従来のような形にしなければいけないなどは思っております。ですから、それに向けて様々なことに取り組んでいきたいと考えております。

○委員（内田美恵子君） 本年度予算も見てみると、近隣センターの維持管理費なども結構大きな額が出ているわけで、あえてああいう施設を造ったというのは、先ほども言いましたけれども、やはり住民が地域の課題などを解決していかうという方針の下に造られたわけで、貸し館をやるために造ったわけじゃないですね。貸し館をやるんだったら、民間の事業者にやってもらったほうがよっぽど経済的な効率も上がるわけで。

ですから、やはりこの根戸だけではありませんが、今後、高齢化が進む中で担い手をどうしていくかということをはかの近隣センターの問題も併せて、市民協働推進課ですから、ずっと真剣に考えてくださっているとは思いますが、より一層これしっかり考えて解決していかないと、まさにほかの地域でもこういう事態が起こってくると思いますので、その辺よろしくお願ひしたいと思ひます。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○市民協働推進課長（小池博幸君） この近隣センターとまちづくり協議会の仕組みなんですけれども、委員おっしゃるとおり、平成元年にコミュニティ整備計画を策定しまして、もう30年以上経過しております。ただ、その当時と、やはりいろいろなものが社会的にも変化しているだろうと思っております。場合によっては、いずれ例えば今の運営形態が限界に来る地区もあるだろうと思いますので、今の時代、これからの時代に合った運営形態を少し考えていければなと思っております。

○委員（内田美恵子君） 今後、運営形態をどうしていくかというのを考えていく際に、時代は変わっていますが、やはり我孫子のよさである住民自治じゃないですが、その辺のところは、今後、市の財政が悪化していく中で、やはり協働していかなきゃいけないという部分が大きくなってくると思いますので、その視点は決して忘れないでいただきたいと思います。これ強く要望しておきたいと思います。

それで次に、近隣センターふさの風の駐車場の整備の予算も計上されていますけれども、とてもありがたいことだと思いますが、隣地というふうになっているんですが、今の近隣センターの隣の用地を賃借するという事によろしいでしょうか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 近隣センターの隣の敷地を駐車場として整備するというものです。

○委員（内田美恵子君） 今、隣の用地には建物が建っていますが、その辺は、解体した後には駐車場を整備するという事によろしいですか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 建物所有者の方が解体しまして、その後に駐車場として市が整備するものです。

○委員（内田美恵子君） 最後に、そうすると、いつ頃駐車場が使用できるようになるのか、お聞かせください。

○市民協働推進課長（小池博幸君） まだ建物・土地の所有者の方と、その解体の時期であるかどうか、詳細のほうは4月以降詰めることになるんですけども、できる限り早めに整備を行えるようにしていきたいと考えております。

○委員（岩井康君） 予算書の141ページ、資料が32ページ、款2項1目13、市民生活部市民協働推進課、事業は、地域コミュニティ活性化推進事業です。

事業費が362万1,000円ということですが、事業内容のコメントのところ、布佐2丁目自治会に貸し付けている市有地にある建物が倒壊のおそれがあるため解体工事を行うとなっております。この解体工事ですけれども、実際、いつ頃建てた建物なのか、まず、そのあたりから教えてください。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 昭和30年代に建てられた建物ということで聞いております。

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○委員（岩井康君） ありがとうございます。

そうしますと昭和30年となりますと、国がアスベストをかなり推進して、積極的に勧めていた時期ですね。ですから、この解体をするとなると、362万1,000円の中にアスベスト調査費用は入っていますか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 調査費用のほうは入っておりません。

○委員（岩井康君） レベル1、2、3とありますけれども、1の場合であっても調査をして、その報告義務があるんですね。ですから3の場合は完全に報告しなきゃ駄目なんですね。ですから、そういう点で見ると、この解体についてはかなり慎重にやらなきゃいかんし、そういう点では、近隣の住民の方々にも影響を及ぼすということになりますので、これらについてはどのようにお考えでしょうか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 当然その解体に当たっては、時期であるとか、その解体するということは、近隣の方にもしっかりとお知らせしたいと考えております。

実際そのアスベスト等のことなんですけれども、実際は見積りをもらう上で業者のほうには見ていただいております。こちらの建物なんですけれども、例えば以前、昔あった青年館だとか、集会所施設のような建物ではなくて、少しお堂というんでしょうかね。そういった建物になっておりますので、見積りの上で、業者が見た限りではアスベストのほうは問題ないのかなというふうに考えております。ただ、解体工事に当たっては、近隣住民、また自治会の方含めて、しっかりとお知らせしていきたいと考えております。

○委員（岩井康君） アスベストはもうほとんどのところに入っているんですよ。量の問題とか、使い方の問題だとか、いろいろあるわけなんですけれども、これ実際にアスベストに対する特効薬はないんです。そういう点で言いますと、とにかく地域住民の方々に悪い影響が出ないように、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

○市民協働推進課長（小池博幸君） アスベスト等含めて、近隣の方にしっかりとお知らせしていきたいと考えています。

○委員（坂巻宗男君） そうでしたら、予算書143ページです。

ちょっと額としては小さいんですが、入札等監視委員会の委員報償費として3万9,000円です。これは前年度と同額になっているんですが、入札ということに関して言えば最近のニュースでいうと、例えば千代田区の区議会議員が入札情報を業者に漏えいをして逮捕されるであるとか、ですから我々議会側のほうも、本当にこういった問題については慎重に取り扱わなくちゃいけない。

千葉県を見てみると、県の職員がそういった入札契約に関する情報の関係で逮捕されるというのが立て続けに起きているということがありますから、やはり職員の皆さんも本当にこれは、原課も含めて、慎重に扱っていかなくちゃいけない問題なんだろうと。そういう中で議会というのも、そ

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ういうある意味では監視役なんですけど、やはり内部統制といいますか、内部監視機能っていうのは非常に重要なんだろうと思うんですね。

入札なんかに関して言うと、その1つはこの入札等監視委員会というところに入ってくるのかなと思うんですが、まずこの入札等監視委員会がどういう趣旨で設置をされて、現在どういうふうなことが議論されているのか、お聞かせください。

○財政部副参事（須賀隆光君） こちらの入札等監視委員会につきましては、入契法に基づいて設置された組織でありまして、実際、我孫子ではどういうことをしているかといいますと、年2回開催しまして、うち1回は制度的なところですね、公契約条例の執行状況とか、あとは市のほうでこういうふうな制度改正しましたとか、これから予定しているのはこういうふうな方向性でやりますというような形で開くのが1回、そしてもう一回が、ある一定以上の金額の契約案件一覧を示した上で、委員が抽出した案件についてその執行状況を検証するというような形で開催しております。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

基本になっているのが、今言った公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律というものがあって、市ではそれに関する設置要綱をつくっていて、それに基づいて年2回開催をしているということです。これは、ホームページなどでも議事録などが開示をされているので、私も見させていただいたところです。令和5年度でいうと、11月に1回開催をされて、それはまさに今おっしゃられたように、制度についての、特に公契約などの関係での議論がなされているというケースでありました。

恐らく今年度もう一回開催をされるのか、開催されたのかということだと思んですが、今年度の具体的な状況はいかがでしょうか。

○財政部副参事（須賀隆光君） 委員おっしゃったとおり本年度は2回開催しておりまして、うち1回目が11月2日、こちらは委員がおっしゃったとおりの制度の状況のほうを行いまして、あと2回目が2月15日に行いまして、7件の契約について審議いたしました。

○委員（坂巻宗男君） 分かりました。

また議事録等できましたら、ぜひお知らせいただきたいと思うんですが、例えばこの7件というのは、今回はどういった事業がここで審議をされたのかというのは、今、お示しいただけますでしょうか。

○財政部副参事（須賀隆光君） 7件ありまして順番に言いますと、1件目が水道局経営課の令和5年度検定満期水道メーター取替業務委託の単価契約、2件目が同じく水道局経営課の令和5年度我孫子市水道局メーター修理（小口径）、3件目が高齢者支援課、我孫子市緊急通報システム事業業務委託単価契約、4件目が市民課のマイナンバーカード交付前事務及びマイナポイント申込み等支援業務委託、5件目が財政課のふるさと納税業務一括代行委託、6件目が資産管理課、令和5年

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

度手指用アルコール消毒液購入単価契約、そして最後7件目が同じく資産管理課で我孫子市役所議会棟第1委員会室改修工事、以上になります。

○委員（坂巻宗男君） ありがとうございます。

例えばその7件の中で、いわゆる委員の方から意見が出たりとか、あるいは勧告が出たりとか、そういうこともできるというふうな感じになっているわけなんですけど、何か特記事項みたいなことがあった事例はあったんでしょうか。

○財政部副参事（須賀隆光君） 御意見いただいたものはありますが、特記事項というか、そこまで厳しいものはなかったと記憶しております。

○委員（坂巻宗男君） 分かりました。またそれは議事録などできたら見せていただければと思います。

今回これとは別に、例えば、並木小学校の今回の議案にもなっていますが、建設工事などに関しては、総合評価方式で低入札になったものだから、その委員会をもう一度開催をして、そこでも審議を行われたというふうな形になっているかと思うんですが、低入札のほうのこの委員会はどういった位置づけになっているのか、お聞かせください。

○財政部副参事（須賀隆光君） 低入札の調査会につきましては、市の内部の職員で、事業者からのヒアリングとかの提出された資料、それを基に適正な契約ができるかということを検討して、その開札の結果を決定するものです。

○委員（坂巻宗男君） ちなみにこれは今年度に関しては、並木小の案件などで行われたかと思うんですが、具体的に何回、いつ行われてというのは、今、出せますでしょうか。

○財政部副参事（須賀隆光君） それぞれ今年度低入札が2件ありまして、それで、まず1回目は5月9日執行の我孫子市立我孫子第二小学校屋上防水、外壁等改修工事（公契約）、2件目が2月6日執行の我孫子市立並木小学校屋上防水、外壁等改修工事（公契約）の2件になります。

会議はそれぞれ1回ずつ開催しまして、いずれも適正な契約が認められたということになります。

○委員（坂巻宗男君） 奇しくもと言えはいいのかな。同じような、小学校の屋上防水の関係での低入札ということであったわけなんですけど、それがここで議論した上で適切だということなんで、それはそれで問題ないと思うんですが。ちなみにこれ、5月9日の開札と2月6日の開札で低入札の委員会自体はいつ行われているんですか、日にちは。

○財政部副参事（須賀隆光君） まず、5月9日執行のものにつきましては5月31日に会議を開催しております。そして、2月6日執行のものにつきましては2月21日に会議を開催しております。

○委員（坂巻宗男君） 了解しました。

市の行われる事業で、実際に入札があって、当然複数の入札など事業者が札を入れて、だけれど

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

も増える予定価格なり、その基準価格を下回っている。けれども低入札の委員会にかけた結果、決して落ち度があるわけじゃないだろうと、この金額でできるだろうというところで執行していったらというふうな流れがあるということで、これもこれで非常に重要な組織だというふうに思うんですね。

例えばこの低入札などは、今年度2件ということなんですが、今までだとそんなにこれが開かれているようなことが、私などはまれなんではないかなと思うんですが、ここ最近の傾向などはありますか。比較的開かれやすくなっているとか、あるいはむしろコンスタントにこれぐらいはあるということなのか、その辺は分かりますでしょうか。

○財政部副参事（須賀隆光君） 毎年度、一、二回ぐらいはたしか開催されていたと記憶をしております。

○委員（坂巻宗男君） 分かりました。

もちろんこれ後で結構なんですけど、過去5年ぐらいの低入札がかかった案件、どういったものになったのか、それがいわゆる可否と言えいいんですかね、審査の内容がどういうふうな状況だったかということを含めてお知らせください。

○財政部副参事（須賀隆光君） それは状況を確認しまして御報告させていただきます。

○委員（坂巻宗男君） ぜひお願いしたいと思います。

今回低入札などでも実は入札が成り立っているような案件が、この学校なんかでもある中で、私はやっぱり今後の予算審議の中にも入ってくるんだけれども、いわゆる湖北の消防庁舎の建設に関しては、15億円からの予定価格がある事業である中で、入札の辞退ということが起きてしまったというふうになっているんですね。

これはちょっと我孫子市においては、なかなか事例としては、そもそも15億円ぐらいの建設事業そのものがそんなに大きいわけじゃない。これ以上に大きかったのであれば、クリーンセンターの建て替えで、予算額で言えば100億円を超えるようなものがあったりした。あれも、でも2つの事業者が参加をして競争が行われるというふうな形になったんですけどね。

これ、例えば資産管理課からしてみても、今回の湖北の消防の建て替えが、入札が辞退されてしまっているというような状態。これをどのように今の段階で評価をしているのか、あるいはどういう要因だというふうに位置づけているのか、その辺は答えできませんでしょうか。

○財政部副参事（須賀隆光君） 他市の事例を見ても、ちょっと長期にわたる大規模な工事というのは今、その先行きが見えないところがあるようで、不調になっている事例というのは幾つか散見されています。

今回の場合の事態というのは、技術者の方。これ総合評価のやり方なので、もう参加申請の時点で、申請した技術者でなければ配置することができないんですけれども、その事業者さんのお得

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

意さんというんでしょうかね、関連の強い企業のほうから、その技術者を指名で自分たちの工事に使ってほしいというのがありまして、入札の場合は落札できるかどうかというのはまだ不透明な段階で、しかも関係が太い顧客から求められれば、そちらを優先したというような形で、辞退という形になりました。

○委員（坂巻宗男君） なかなかいろいろな事情が、我孫子市だけじゃなくてね、それは、公共事業様々ある中で関連しているというか、いろんな流動的な要素などもあってということになるかとは思いますが、ただやはり、私も12月の補正のときにもここで議論させていただいて、公表の期間であるとか、その後の審査なども慎重にさせていただきながら、予定の中でしっかりとした競争が行われて、ぜひいい事業が進むようにということで質問させてもらっているわけなんですけど、残念ながらそれが今、延びるような形になってしまったということ。

もちろんこれは消防のほうでまた具体的には聞いていくんですが、資産管理課のほうとしては、全般としてこういった事態になったときには、当然、もう一度仕切り直して入札をやっていくということになっていくと思うんですけども、いわゆる単純にスケジュールなどを後ろ倒しにして行っていくということなのか、それともその辺のいわゆる条件などを考慮しながら、入札の要件などもいろいろ考えながら執行していくのか、その辺は消防にかかわらず結構なんですけど、全般的なことでも結構なんですけど、どういうふうな形で進んでいくんでしょうか。

○財政部副参事（須賀隆光君） 辞退になったというよりも、不調になった場合ですね。1者辞退されても複数参加があれば、その入札自体は成り立つということがあります。今回の場合はたまたま1者しか参加申請がなかったもので、辞退イコール不調という形になってしまったんですが。やはり当然、不調になった場合は、ある程度その状況を類推しまして、次のときには、不調になりづらくなるように条件を見直したりとか、そういったことは通常いたしております。

恐らくその原因によっては、今回と全く同じ状況で出すとまた不調になることがある程度予測される時は、もう条件をどのように変えようかというところで検討して、再発注ですね。場合によっては発注方法自体も変えてとか、そういったこともいろいろ検討しながら、次の発注を行っております。

○委員（坂巻宗男君） 今回のケースに関しては、いわゆる技術者がということなので、価格を変えとかそういうことではないのかなというふうに思ったりするんですけども、一方で、それがいないということでは工事は進まないでしょうから、そこを緩和するなんてことはできないでしょうし。ですからどういうふうな条件がいいのかというところを総合的に考えていただくことになると思うんですけども。

こういうふうな入札の辞退があり、私も、本来一番の理想は、そもそもおっしゃったように複数の事業者が参加してくれていれば、1者が仮に辞退になっても、2者目、3者名というのがあるわ

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

けなのであって、そこで、この入札自体は成り立つということがあり得るんですけども、今回は1者のみで、1者が辞退をしてしまったがために不調になってしまうというふうなケースがあったと。

例えばそういうふうなこの不調なんかのケースがあったときに、元に戻るんですが、入札等監視委員会というようなところに諮るとか、あるいはその委員の人たちが、先ほど言ったように、今年度に関しては7つの事業をチョイスしてやっていますよね。そういったところで、この原因であるとか、入札の仕方に対して意見を加えていくと、こういうことはあり得るのでしょうか。

○財政部副参事（須賀隆光君） 発注に関しては、どちらかというところとちょっと検討する時間ってあまりないものですから、多忙な委員さんのスケジュールを確保して、それでそれまで議論してということになると、なかなかスケジュール的に厳しいものがありますので、通常はこういう監視委員会に意見を聞くようなことというのは、なかなかしていない状況です。

○委員（坂巻宗男君） ちょっと繰り返しになるんですが、私もこれだけの大きな事業で不調になるというのは、なかなか我孫子の事例で今までいないなというふうに思うので、入札の仕方についてはこの監視委員会に諮らなくても、その後、また令和6年度の入札等監視委員会等が行われていく、そういう中で、ここはまず1回不調になってしまったと。今後ちょっとどうなるか分かりませんが、うまく次で行ければいいなと思いますけれども。そういうところで、1度目から含めて、なぜこれがこういうふうな形で、ある意味では、最初のスケジュールどおりにいかなかったのかというふうなあたりは、入札等監視委員会なんかの意見なんかも聞きながら、こういったことが次で起きないようにというようなことも含めて、私は検討していくというのが一つあっていいのかなと思うんですが、その辺はいかがですか。

○財政部副参事（須賀隆光君） もし普遍的な対応があるというのであれば、我々もいろいろと探っていきたいと思うんですけども、実際問題入札の場合、ケース・バイ・ケースで案件ごとに事情が異なって、また、そのときの業者さんの手持ちとか、そういったものによってもまたちょっと結果が左右されてくる、あと発注の時期とかですね。そういったことがありますので、万能薬みたいな対処方法がないものですから、やはりこれはもう案件ごとに検討していくしかないのかなというふうに考えております。

○委員（坂巻宗男君） これからの、今、不調になってしまったというところでの進め方としては、その辺ある意味でフレキシブルに対応していかなくちゃいけないというのは、了解しています。

ところが一方では、これが今回の段階で、15億円もの我孫子に関して言えば非常に大きな公共事業であるにもかかわらず不調になってしまったというのは、やっぱり一つの大きな結果なんだろうと思うんです、今の段階で。ここで終わってくれればいいと思うんですけど、このとどまっていることがね。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ただ、やっぱり一つそういうことが起きてしまったということ自体は、私は入札の一つの事例として重く受け止めて、なぜこういうことが起きたのかということの検証の意味でも、令和6年度の入札等監視委員会などではやはりこれは取り扱ってもいいんじゃないか、そういう趣旨なんですか、その点はいかがですか。

○財政部副参事（須賀隆光君） どちらかというとも1度目の制度のほうなんかのときに、こういった分析をしたんですけれどもというような形で報告をして、それに対して意見をいただくということとはできるかと思います。

○委員（坂巻宗男君） 今のは、大体11月と2月に開いているうちの11月のほうの、今回で言えば公契約条例などの事例についていろいろと意見をもらっているようなところの中で、一つの案件としてこういった枠組みで行ったものが不調になったというふうなお話ですよ。ぜひ、そういったところでも結構だと思うんですね。

弁護士の方と、大学の先生と、行政書士の方ですね、今の委員の方。そういった方々、しっかりその中で議論されているなというふうには、私なんか議事録を見て思っているのですが、そういったところの意見、知見もやはり聞いていただいて、我孫子市の入札というものがやはりしっかりと公平公正、そして遅滞なくとさえいえるのかな、市の市民サービスにも影響してきますからね、それが遅れるというのは。ですから、そういったことがいいサービスにつながるように、こういった委員会などもしっかりと活用していただきたい。もう一度、所管課として御見解をお願いします。

○財政部副参事（須賀隆光君） そうそういった不調とか、そういう市民サービスに影響が極力出ないような運用をしていきたいと思います。

○委員（芹澤正子君） 予算書の141ページ、先ほど岩井委員が質問した同じところです。説明書が32ページ。

布佐2丁目自治会館について、自治会の負担はゼロで我孫子市が壊すことに、建物の解体工事をするようになったんでしょうか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） こちらのほう、布佐2丁目自治会所有の建物ではありません。

○委員（芹澤正子君） どのくらいの大きさですか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） ちょっと大きさの表現的には難しいんですけれども、高さで言ったら3メートルぐらいなもので、面積で、平面で言ったら3メートル四方ぐらいの建物になります。

○委員（芹澤正子君） 質問したのは随分高い値段だなというのがあったんですが、その後、再建築の予定はありますか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 先ほど答弁したとおりです。これ別に集会所として使っているものではなくて、先ほどちょっと言いましたけれども、お堂という建物なので、それがもう震災

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

で影響を受けまして、倒壊のおそれがあるということで、もうこれは解体するだけになります。

○委員（芹澤正子君） 下段のほうに移ります。

これは泉自治会が修繕して、全体の2分の1で上限が100万円ということで100万円でした。

質問は、自治会館は我孫子市内に現在何軒ありますか。

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午後5時02分休憩

午後5時02分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開いたします。

○市民協働推進課長（小池博幸君） おおむね80軒あります。

○委員（芹澤正子君） 台帳みたいなのはあると思うんですけど、計画的に修繕は行われていますか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） こちらは市のほうで計画的に行うものではなくて、自治会がその必要に応じて市のほうに要望を出してくると。それに基づいて、市のほうで予算を要求するかどうかということで進めておりますので、特段、市のほうで計画的に行うものではありません。

○委員（芹澤正子君） 予算書の141ページ。説明書はありません。

近隣のことなんですけど、上から4行目と5行目、つくし野コミュニティホールの賃借料が121万5,000円、その下が我孫子北近隣センターつくし野館が賃借料が299万5,000円です。上の段は月額で約10万円、下のほうが月額で24万円ですが、これは最初造ったときに随分ぜいたくに造ったからこの値段で、よその借りている値段とえらく違うというので私は質問したことがあります。今もう一度賃借料の交渉をすることは可能でしょうか。

○市民協働推進課長（小池博幸君） 賃借料の交渉することは可能だと考えております。

○委員（芹澤正子君） 時代に即したのならば了解しますけれども、一度交渉をよろしく願いいたします。要望です。終わります。

○委員長（日暮俊一君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（日暮俊一君） 暫時休憩します。

午後5時05分休憩

午後5時07分開議

○委員長（日暮俊一君） 再開いたします。

総務費に対する質疑を保留いたします。

【会議録（暫定版）】 校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

本日の審査はここまでとし、明日は午前10時より会議を開きます。

本日はこれをもって散会いたします。大変にお疲れさまでした。

午後5時07分散会